



調査主体：一般社団法人 日本補聴器工業会  
後援：公益財団法人 テクノエイド協会  
協力：EHIMA (欧州補聴器工業会)

# JapanTrak 2012

1. はじめに
2. 市場概要
3. 補聴器所有者に関する分析
4. 補聴器非所有難聴者に関する分析
5. 日本の市場に特化した質問項目



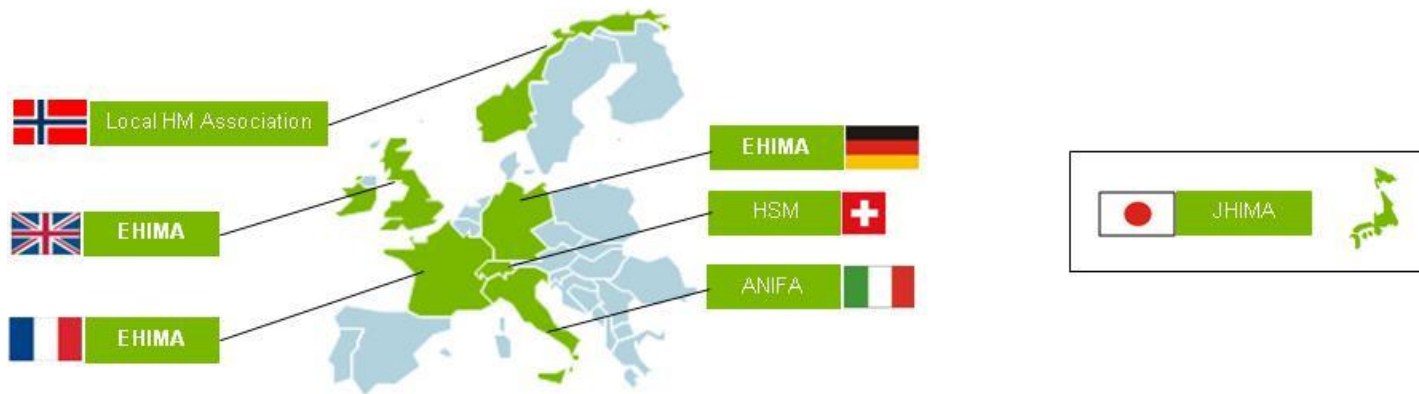
---

# 1. はじめに





# ユーロトラック 2012(欧州6カ国)と ジャパントラック2012



国	2009年	2012年	Sponsor
ドイツ	✓	✓	EHIMA
フランス	✓	✓	EHIMA
イギリス	✓	✓	EHIMA
スイス		✓	HSM
ノルウェー		✓	HM Association
イタリア		✓	ANIFA
日本		✓	日本補聴器工業会 (JHIMA)

ユーロトラックとジャパントラックはチューリッヒのアノバム社が開発・設計し実施した。





# ユーロトラック2009のレビュー

- 業界紙: 複数の表紙掲載と10-15誌へ記事掲載
  - Hearing Review / Audio Infos / Hörakustik, etc..
  
- 学会/関連団体へ発表
  - (EUHA, BSHAA, NHS conference, Nordic college, HA wholesalers, etc...)
  
- 幅広い報道
  - グーグルで“EHIMA EuroTrak”と検索すれば1000件以上
  
- オピニオンリーダーが好意的に受容
  - Kochkin/Davies/Strom





# ジャパントラックの目的

## ジャパントラック2012

- **基本データの取得**
  - 自己申告による難聴者率と補聴器使用率の調査
  - 補聴器使用までに至らない難聴者の分析
  - 補聴器の使用実態と満足度の分析
  - 補聴器の与える良い影響の評価
  - 難聴者が補聴器を使用しない理由の探索
  - 補聴器を所有するきっかけの探索
- **他国との比較**





# 目的と調査関係者

---





# JapanTrak (ジャパントラック)2012 の目的

---

(社) 日本補聴器工業会は (公財) テクノエイド協会の後援とEHIMA (欧州補聴器工業会) の協力を得て、我が国において一般の人々が聞こえの不自由さ (難聴) や補聴器についてどのように思われているか、補聴器の使用状況はどうなっているかなどについて大規模な実態調査を実施した。

**JapanTrak 2012**の目的は、我が国における聞こえと補聴器を取り巻く現在の諸問題を抽出し、欧米諸国の同様データとの比較も行ないつつ、全難聴者のQOLの向上に寄与できる対策を見出すことにある。





# ジャパントラック2012の調査関係者

## 調査関係者

- ジャパントラックはユーロトラックの日本版である
- アノバム社（スイス・チューリッヒ市）がこの調査法を開発し、アンケート内容を作成した。また、日本の調査会社と共同して調査を実施した。最終的にアノバム社が結果の分析と資料の作成を行った
- 欧州補聴器工業会（The European Hearing Instrument Manufacturers Association [EHIMA]）がベター・ヒアリング研究所の代表であるセルゲイ・コチキン博士と協力し、ユーロトラックのアンケート内容を承認した
- ジャパントラック・プロジェクトの主体は（社）日本補聴器工業会（JHIMA）である。尚、工業会会員は、バーナフォン、コルチトン、ジーエヌリサウンド、NJH、オーティコン、パナソニック、フォナック、リオン、シーメンス、スターキー、ワイデックス各社である
- アノバム社と（社）日本補聴器工業会はユーロトラックのアンケート内容に加え、日本市場に特化した調査項目を追加した。また、質問および回答の日本語化は（社）日本補聴器工業会が担当した

## データの使用について

- （社）日本補聴器工業会会員各社は調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を今後の研究や出版物等に使用出来る。それ以外の者は（社）日本補聴器工業会の承認を得なければならない
- 生データはアノバム社が所持することとする。（社）日本補聴器工業会会員各社が調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を使用する場合は、当該データの出所を以下の通り明記しなければならない  
“Source: Anovum – JapanTrak 2012”
- （社）日本補聴器工業会会員各社は生データを使ったさらなる分析をアノバム社に有料で依頼することができる







# 調査手法

---





# アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

## ステップ1：選別インタビュー

目的：難聴者率と補聴器所有の調査

方法：

1. 全人口を反映する厳格な割り当てサンプルの抽出（年齢・性別のバランス、地域の分散）
2. 10万人を超える調査名簿から選出
3. 選別アンケート：自己申告による難聴の程度、補聴器使用、人口動態
4. 結果：人数=15,036人

## ステップ2：対象者インタビュー

目的：補聴器満足度と補聴器非使用者に対する詳細な調査

方法：

1. アンケートの主体：補聴器所有者と補聴器非所有者
2. 選別インタビュー（ステップ1）の比率に応じたアンケート回答者を抽出
3. 結果：450人の補聴器所有者、898人の補聴器非所有難聴者





---

## 2. 市場概要





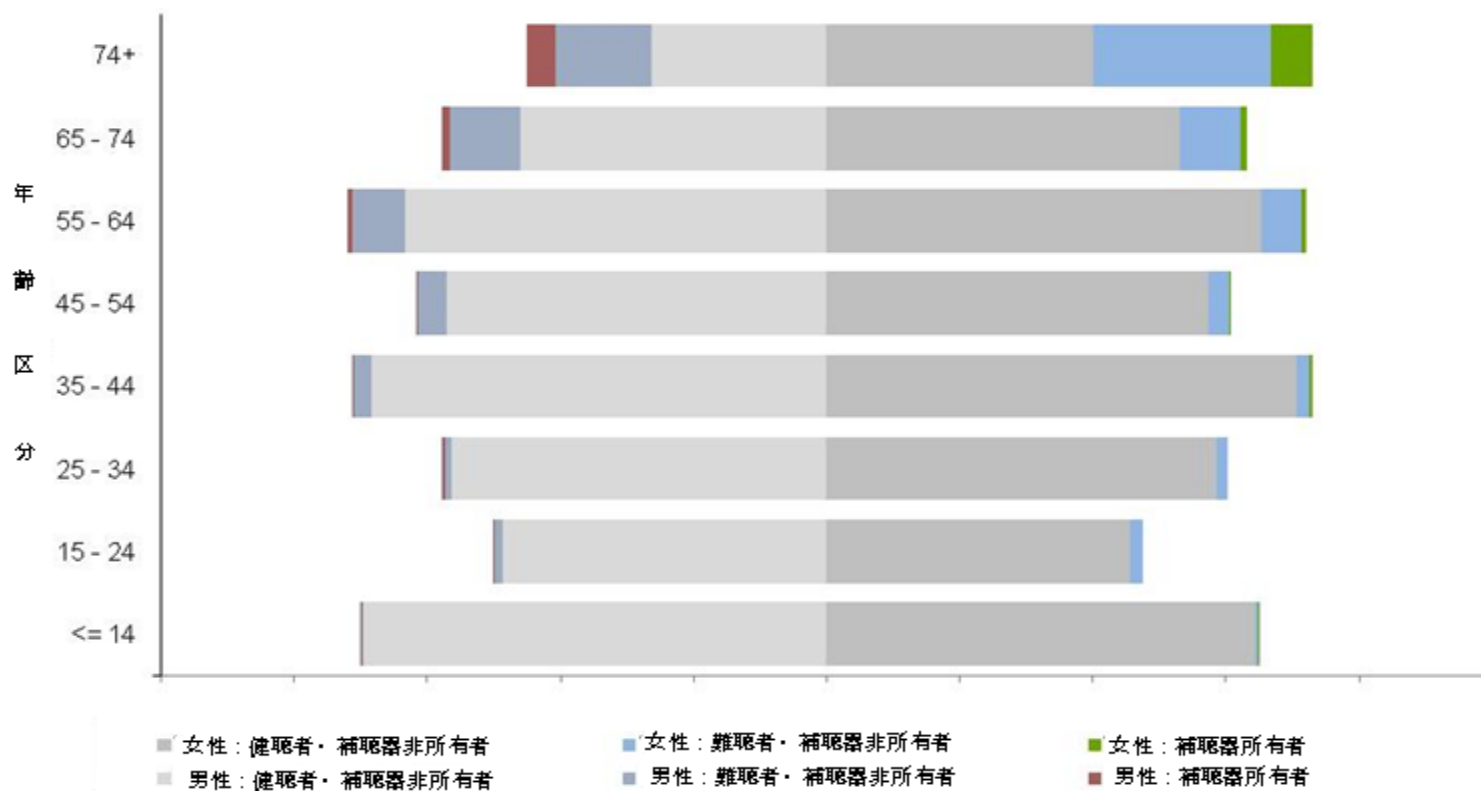
# 難聴者比率と補聴器使用率

---



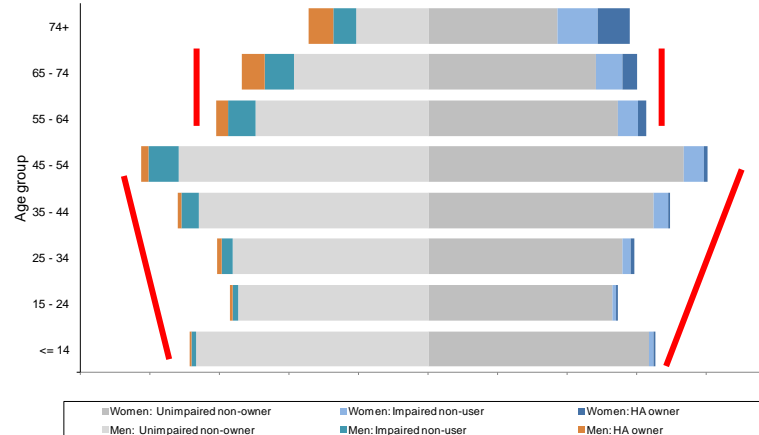
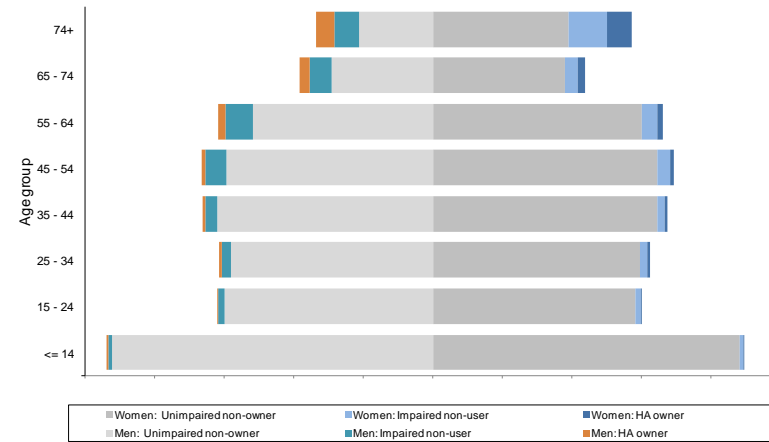
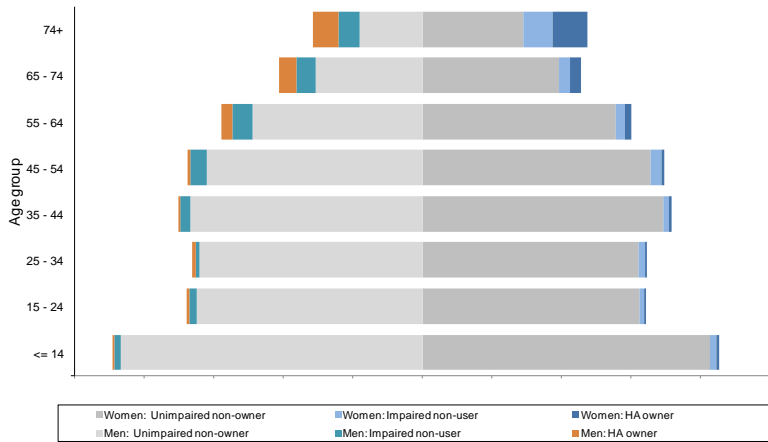


# 性別/年齢別難聴者および補聴器所有者





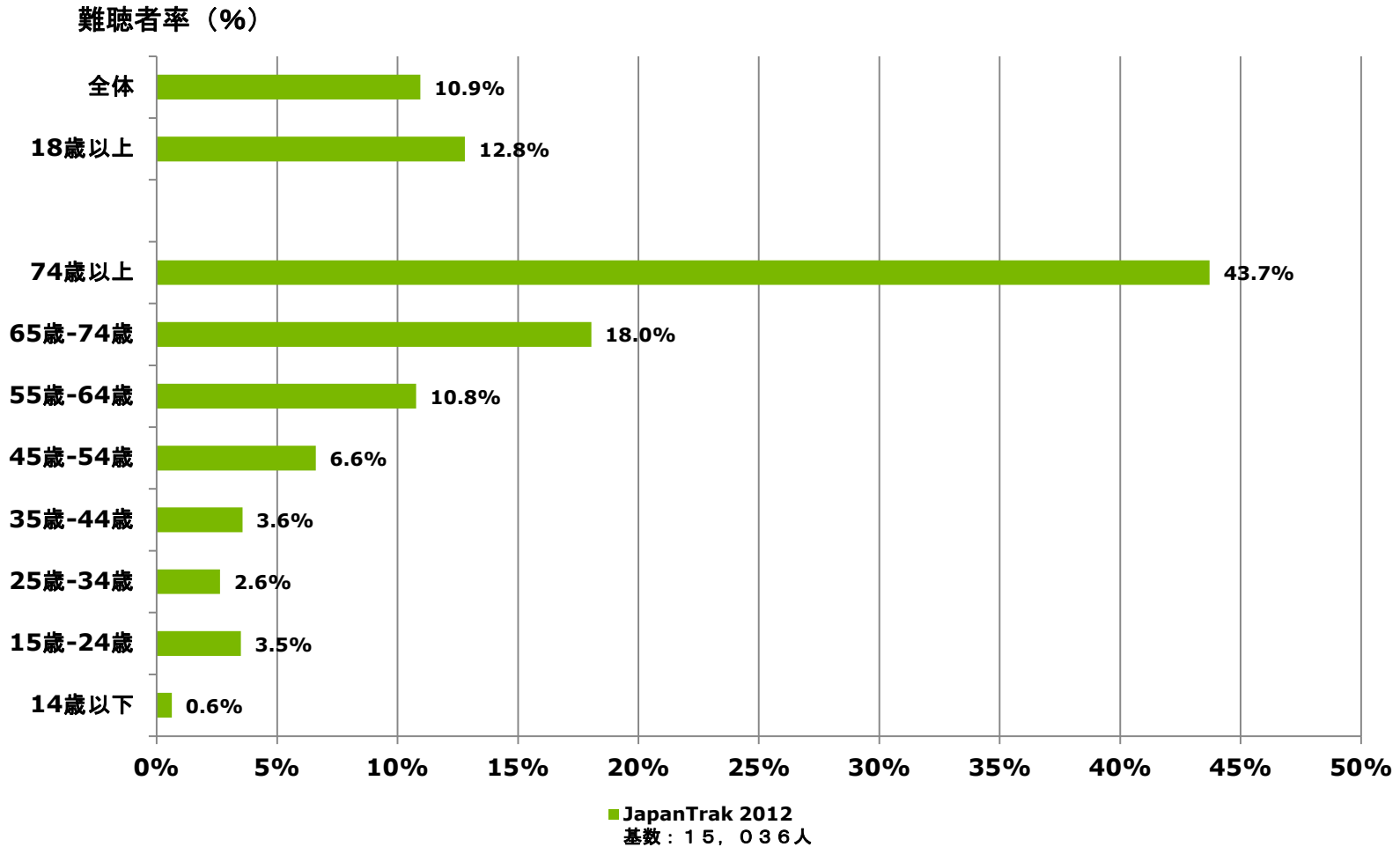
# 国別：性別/年齢別難聴者および補聴器所有者





# 難聴者率

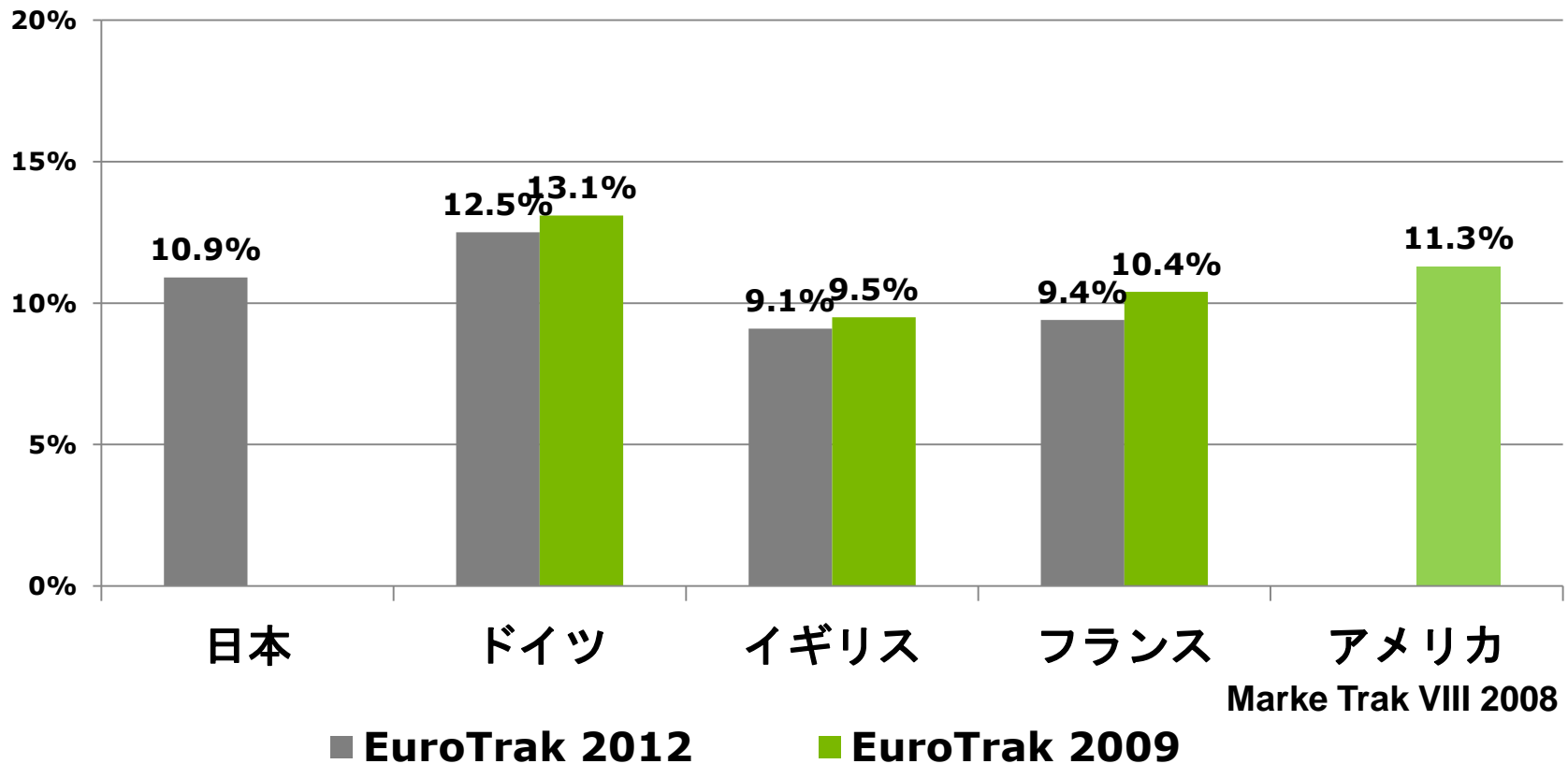
(難聴またはおそらく難聴だと思っている人の割合)





# 日本の自己申告難聴者比率は欧米諸国と近似している

% 自己申告による難聴 (基礎: 人口統計)



Marke Trak VIII 2008



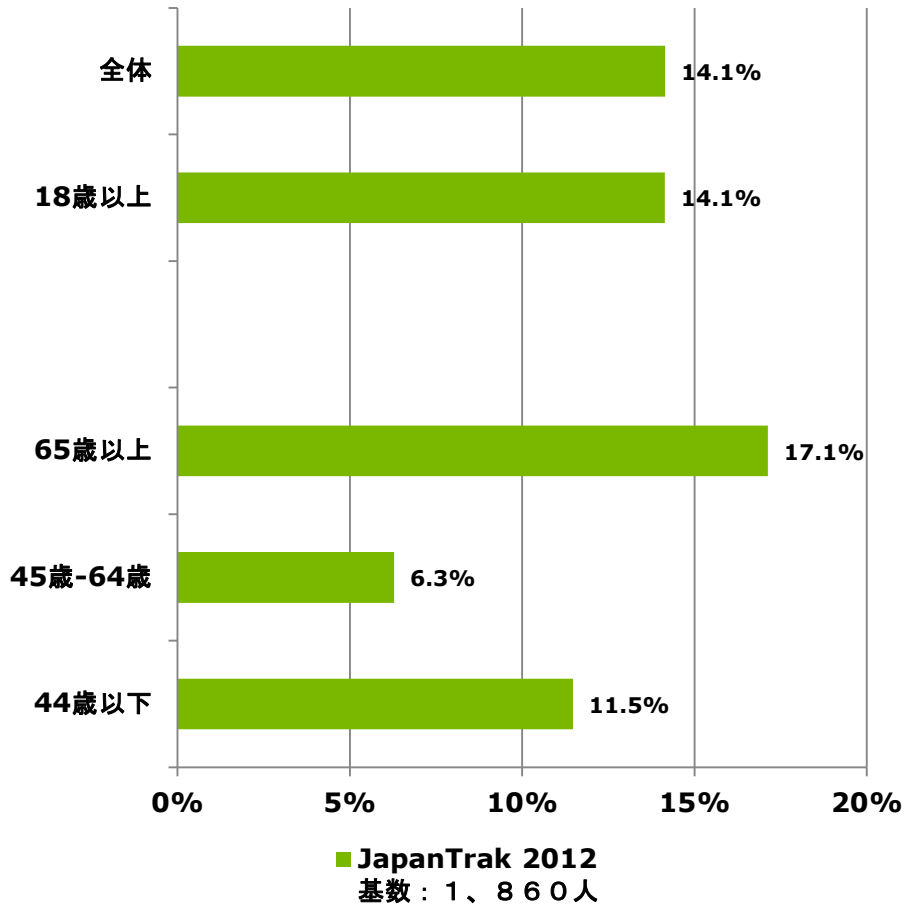




# 補聴器使用率

## 14.1% の難聴者が補聴器を使用

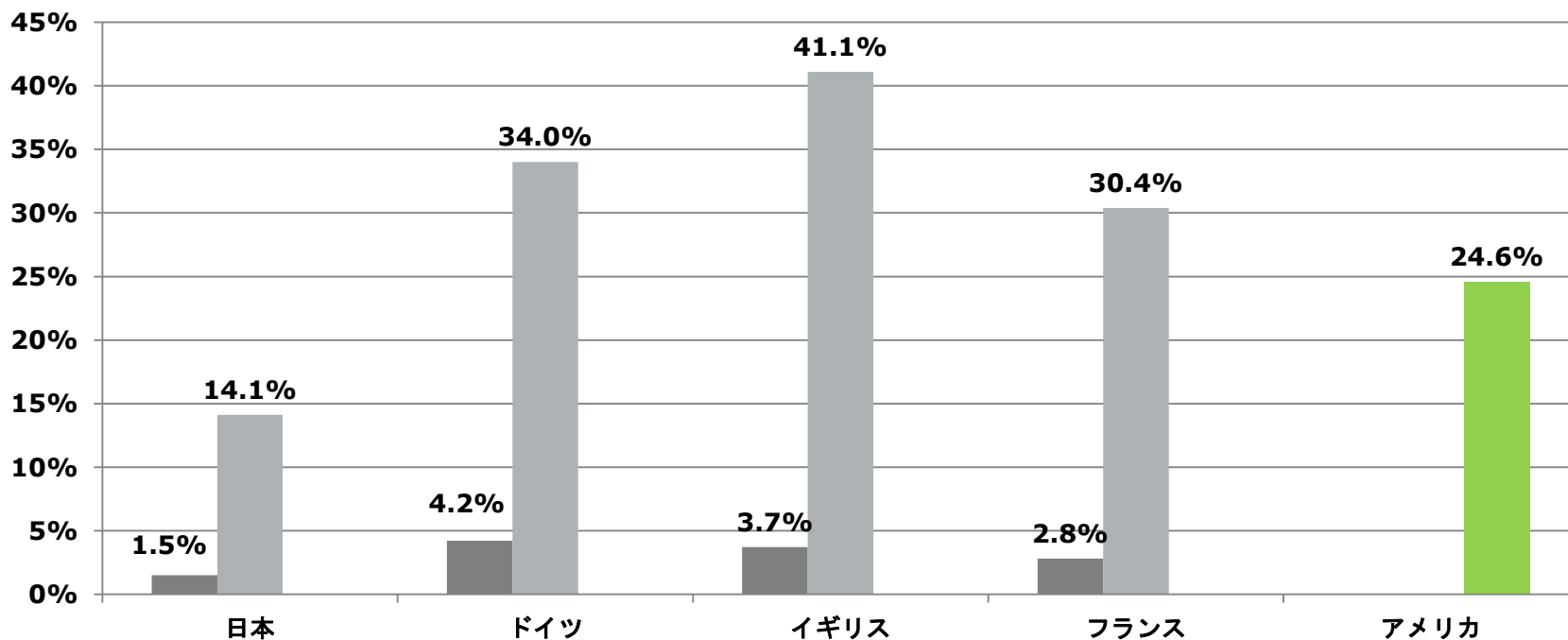
補聴器使用率 (%)





# 日本の補聴器所有率は他の先進諸国に比べて著しく低い

所有率: 補聴器所有率 (対アンケート回答者%) と補聴器所有率 (対自己申告難聴者%)



Marke Trak VIII 2008

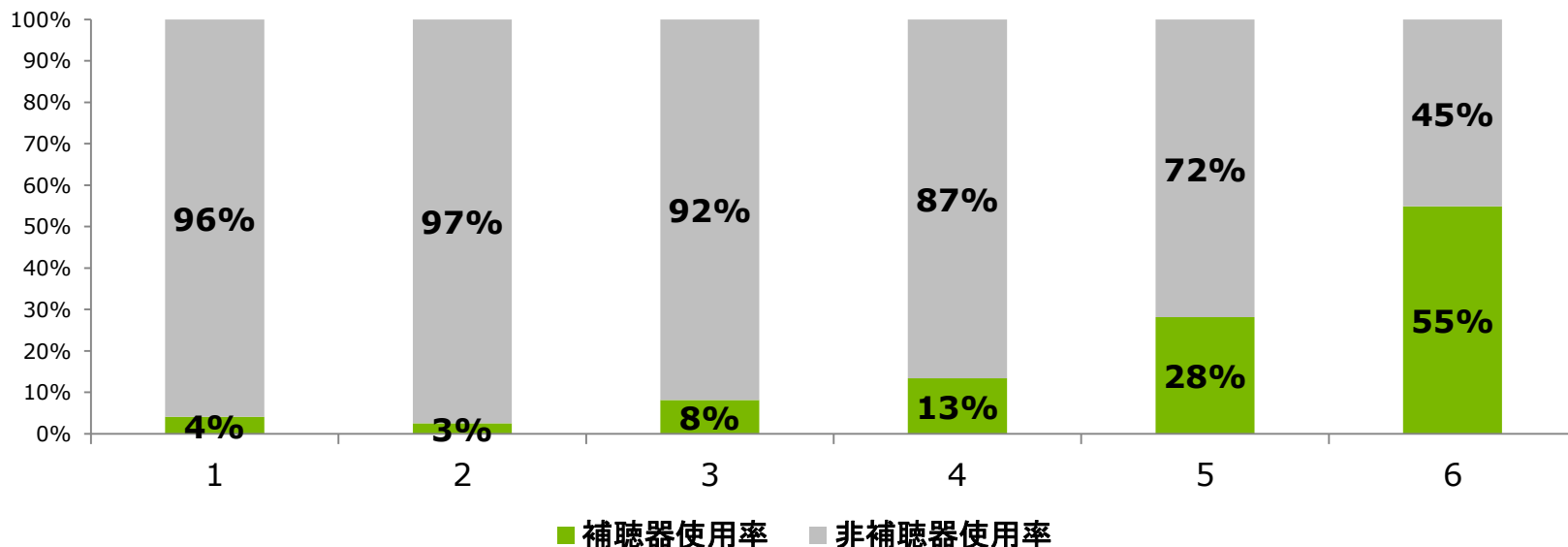
■ EuroTrak 2012 (対アンケート回答者比 %) ■ EuroTrak 2012 (対自己申告難聴者 %)





# 難聴度が高いグループほど補聴器使用率が高い

## 難聴度の低いグループ（1,2,3） 難聴度の高いグループ（4,5,6）



難聴度別に分類された6グループ

補聴器非所有者：898人  
補聴器所有者：450人

6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：

- ・ 障害のある耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-EC テストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

→ 回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）



# 難聴

## 難聴耳及び程度: 補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器非所有者 (898人)	補聴器所有者 (450人)	補聴器使用率(%)
難聴耳 (自己申告)			
片耳難聴	40%	24%	11%
両耳難聴	60%	76%	21%
難聴程度			
軽度	35%	17%	8%
中等度	60%	56%	14%
高度	4%	24%	47%*
重度	2%	3%	

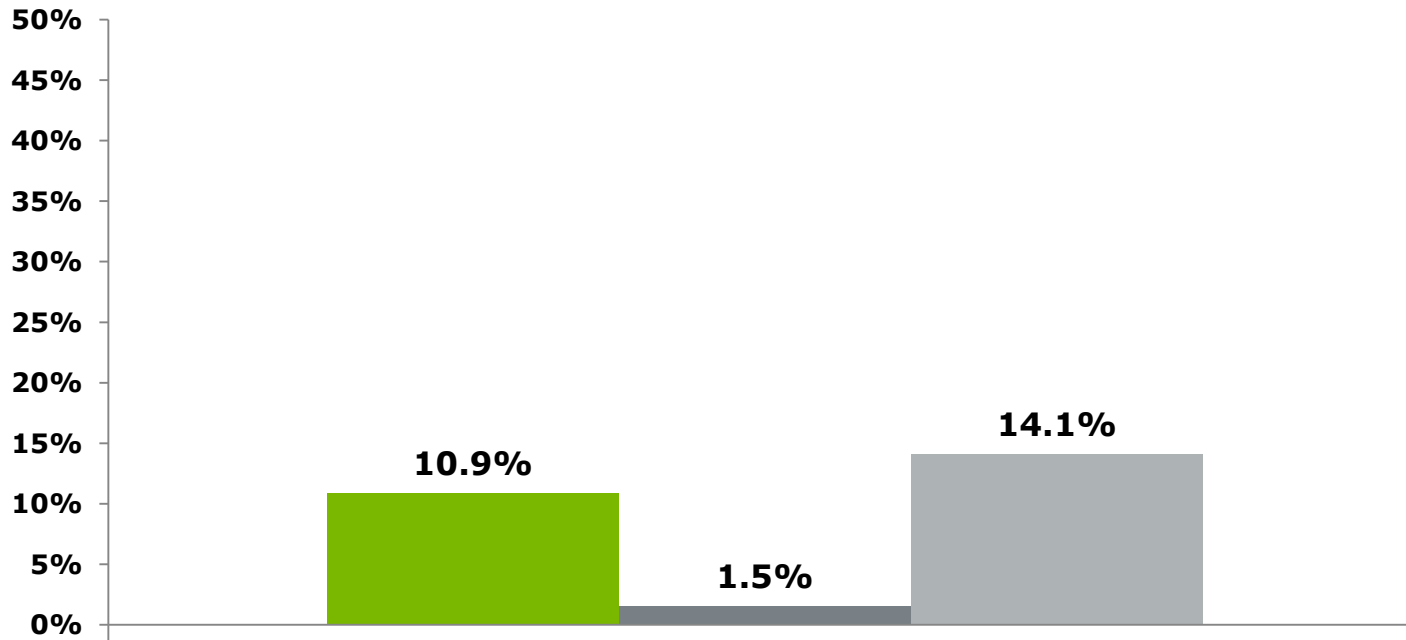
人数は実数、その他は比率

\* 高度と重度はサンプル数が少ないため合計数とした。





# 難聴者率と補聴器使用率



## JapanTrak 2012

■ 難聴者率 (自己申告)    
 ■ 補聴器使用率 (対全人口)    
 ■ 補聴器使用率 (対難聴者数)





# 聴力検査と耳鳴りの有病率

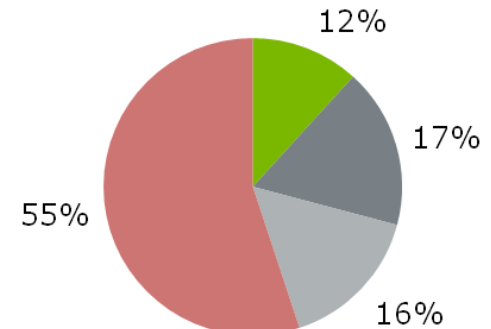
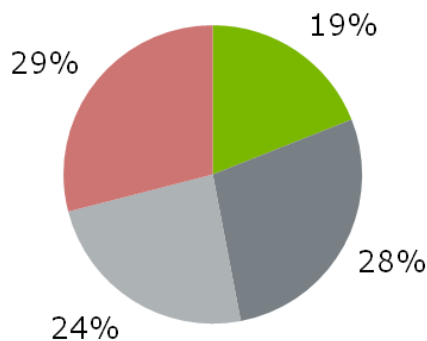
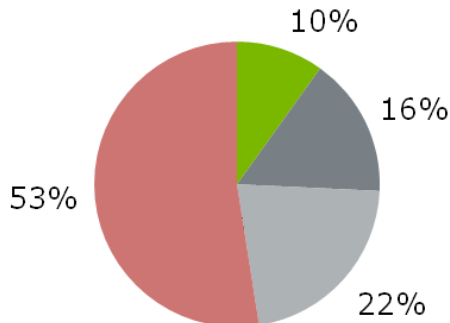
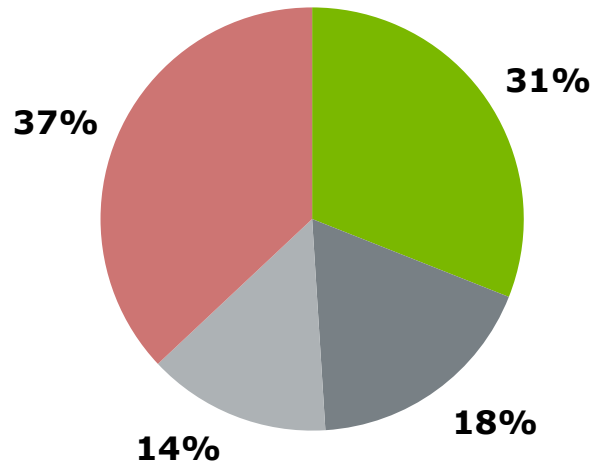
---





# 37%の人々が聴力検査を受けたことが無いと回答している（英国・ドイツ・フランスとの比較）

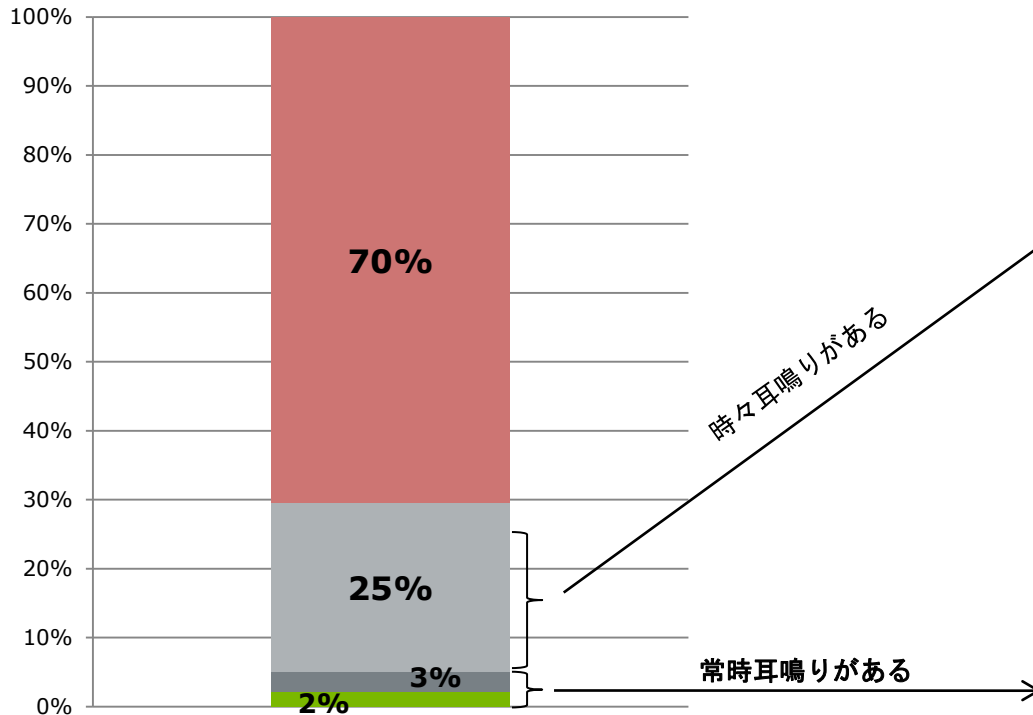
- はい、1年以内に受けました
- はい、5年以内に受けました
- はい、5年以上前に受けました
- いいえ、受けたことはありません





# 耳鳴りの有病率 (1)

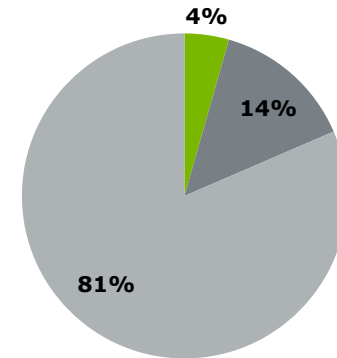
あなたは片耳又は両耳に耳鳴り（耳や頭の中でベルや蝉が鳴くような音）がありますか？



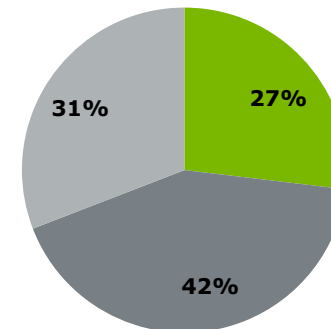
- いいえ、ありません
- はい、時々あります
- はい、いつも両耳にあります
- はい、いつも片耳にあります

基準数：4,163名

今迄に耳鳴りの治療を考えたことはありますか？

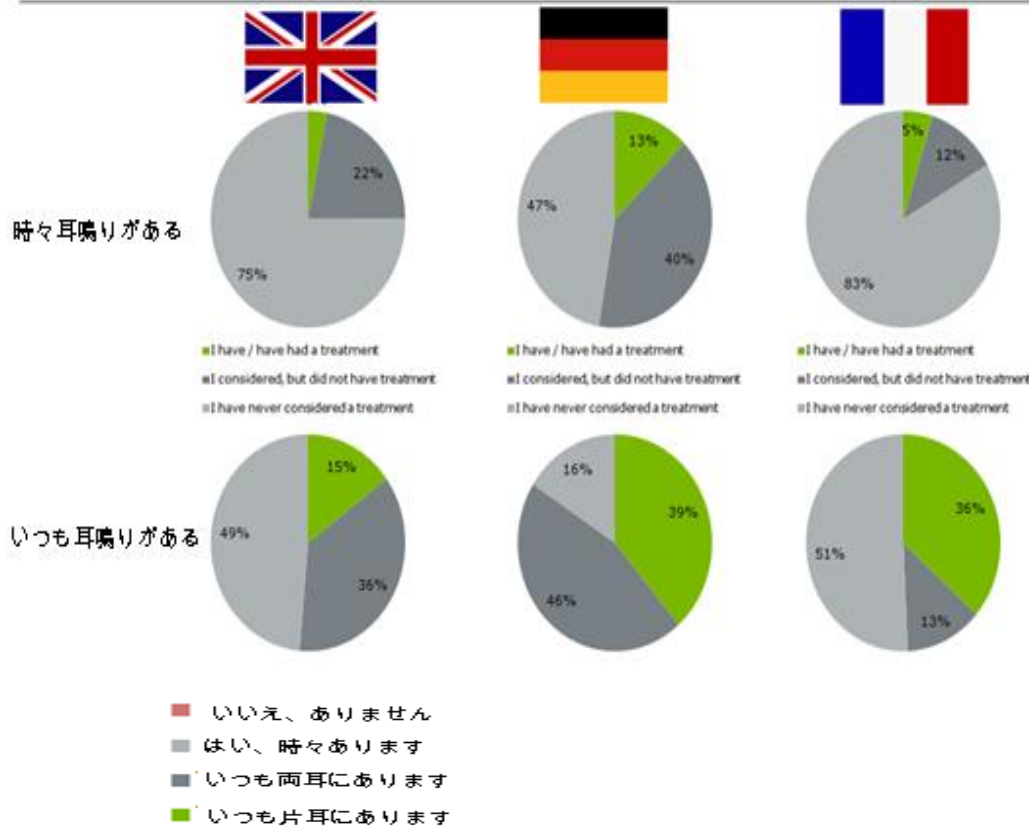


- 治療を受けたことがあります
- 治療を考えましたが受けませんでした
- 治療を考えたことはありません

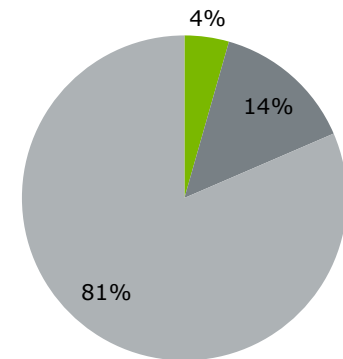




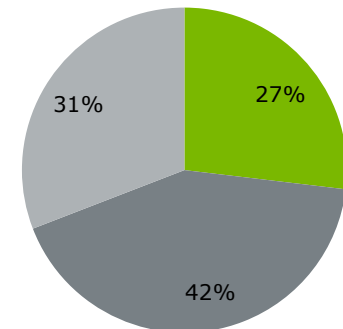
# 耳鳴りの有病率 (2)



今迄に耳鳴りの治療を考えたことはありますか？



■ 治療を受けたことがあります  
■ 考えましたが受けませんでした  
■ 治療を考えたことはありません



基準数: 4,163名





# 補聴器使用の優位性

---

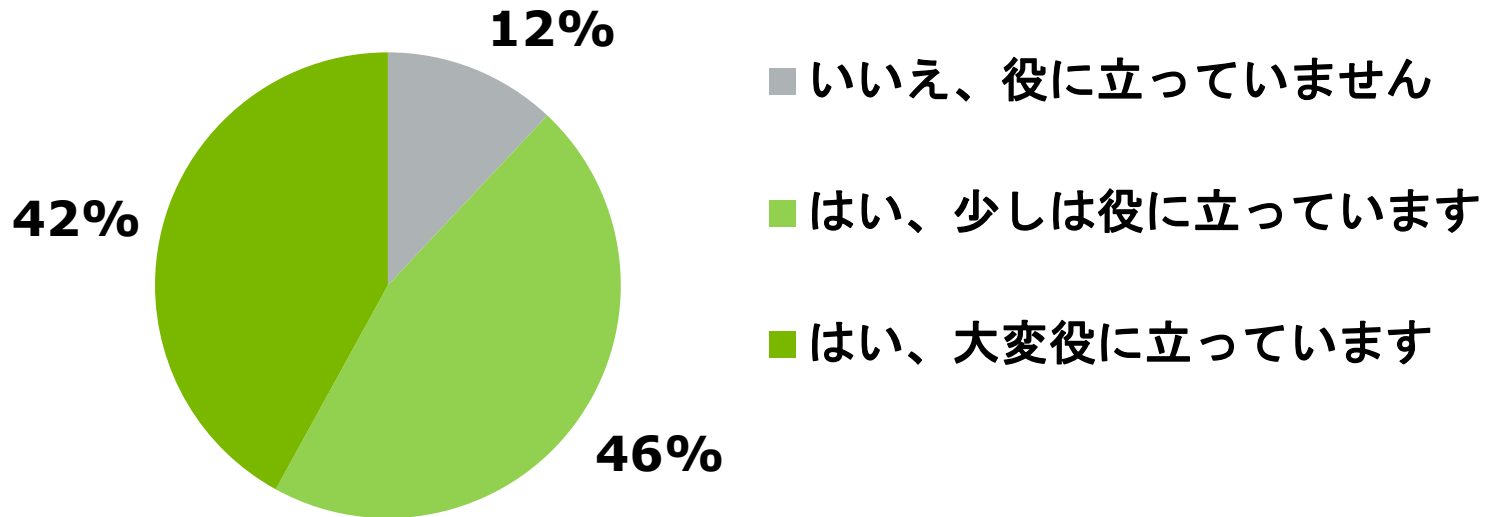




## 仕事上での優位性：

仕事を持っている補聴器使用者の88%は補聴器が仕事上で役に立っていると言っている

補聴器はあなたの仕事上でどのように役立っていますか？



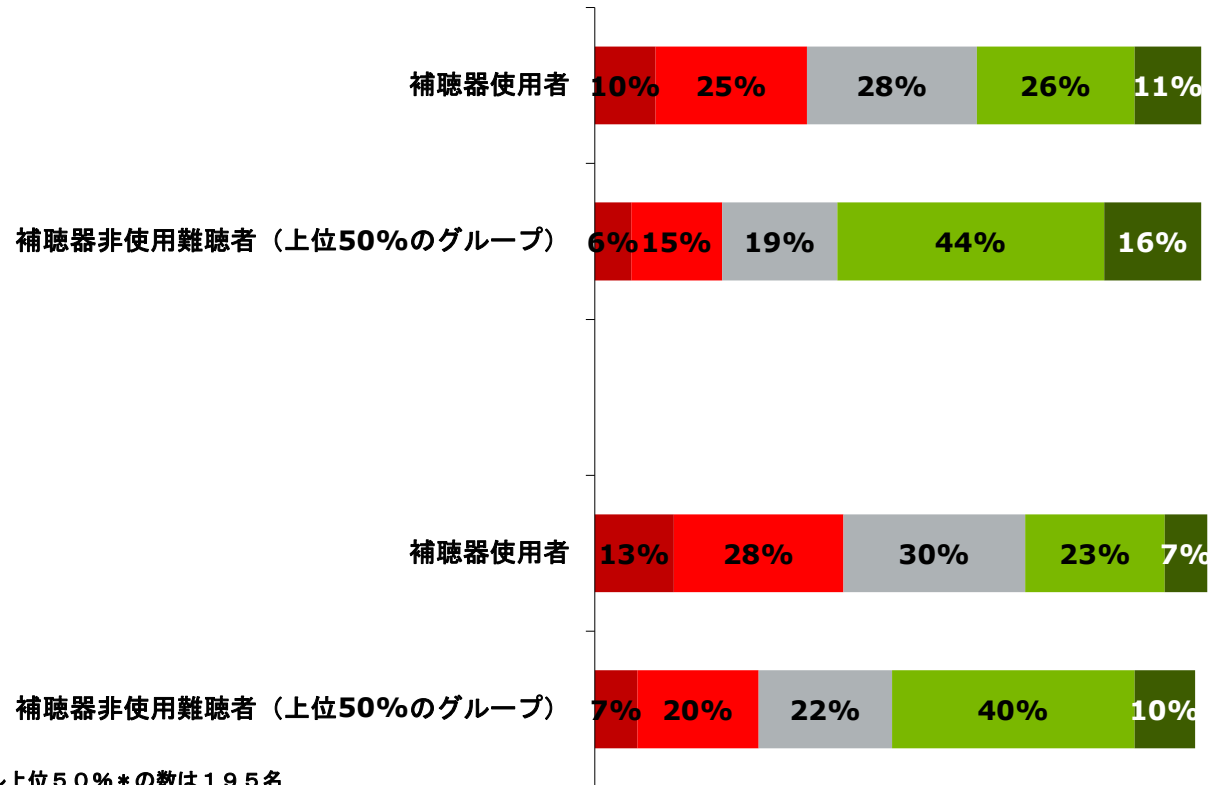
基数：143人



# 難聴度の高い上位50%のグループ\*の補聴器非所有難聴者は補聴器使用者と比べて夕方になると疲労が大きい

■ ほとんど無い ■ 余り無い ■ どちらとも言えない ■ 多少ある ■ 大いにある

私は夕方になるとしばしば肉体的な疲労を感じる



私は夕方になるとしばしば精神的な疲労を感じる

基数：補聴器装用者438名中、聴力レベル上位50%\*の数は195名

\* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：

- ・ 障害のある耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-EC テストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

→ 回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）



---

## 3. 補聴器所有者の分析



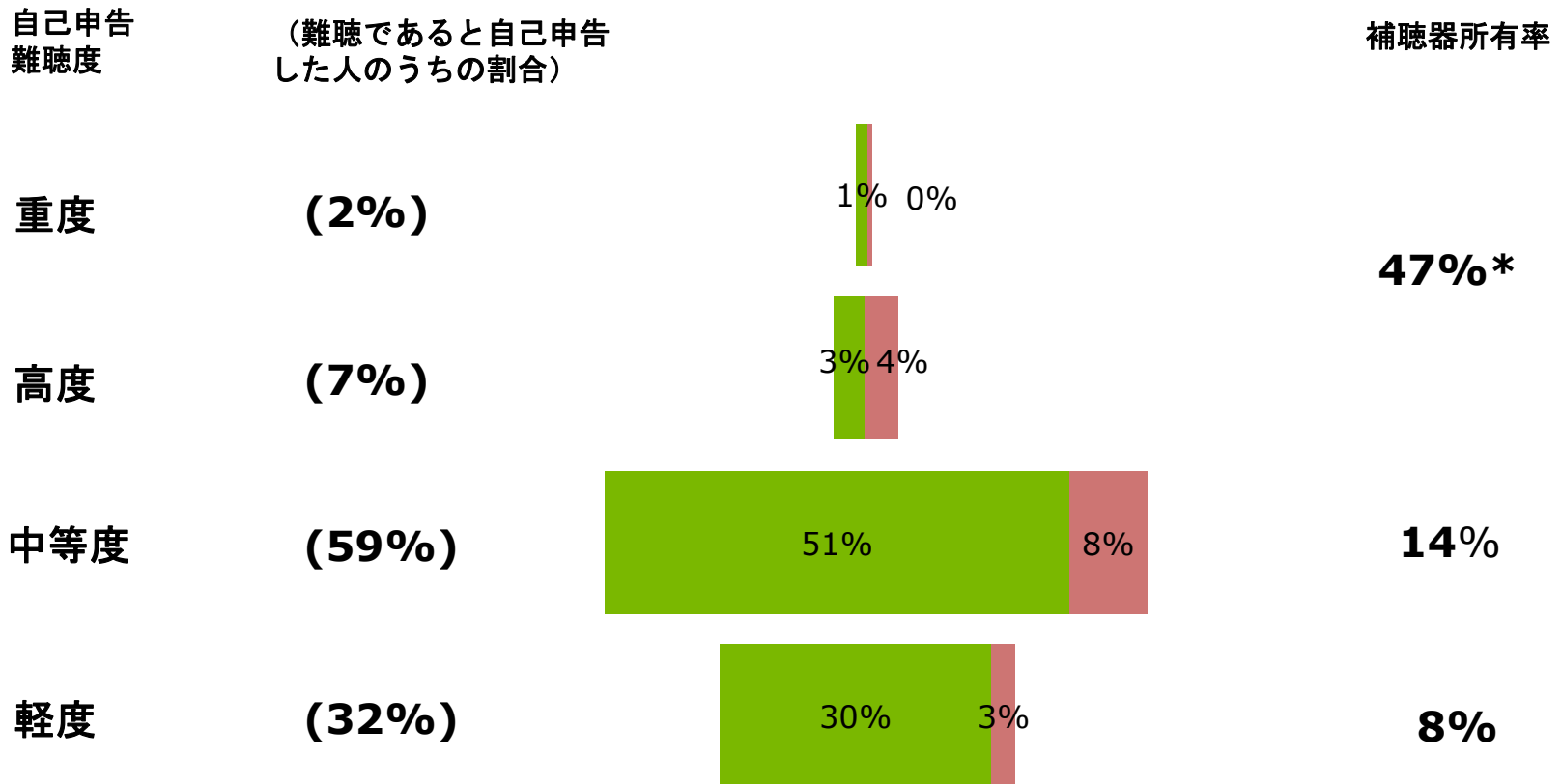


# 補聴器所有者と補聴器の寿命（買換え時期） 及び使用状況について

---



# 難聴度が軽度・中等度のうちは補聴器所有率が低い



基数: 1, 348人

四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある

\* 基数が過少なため重度と高度難聴者を合算して算出している

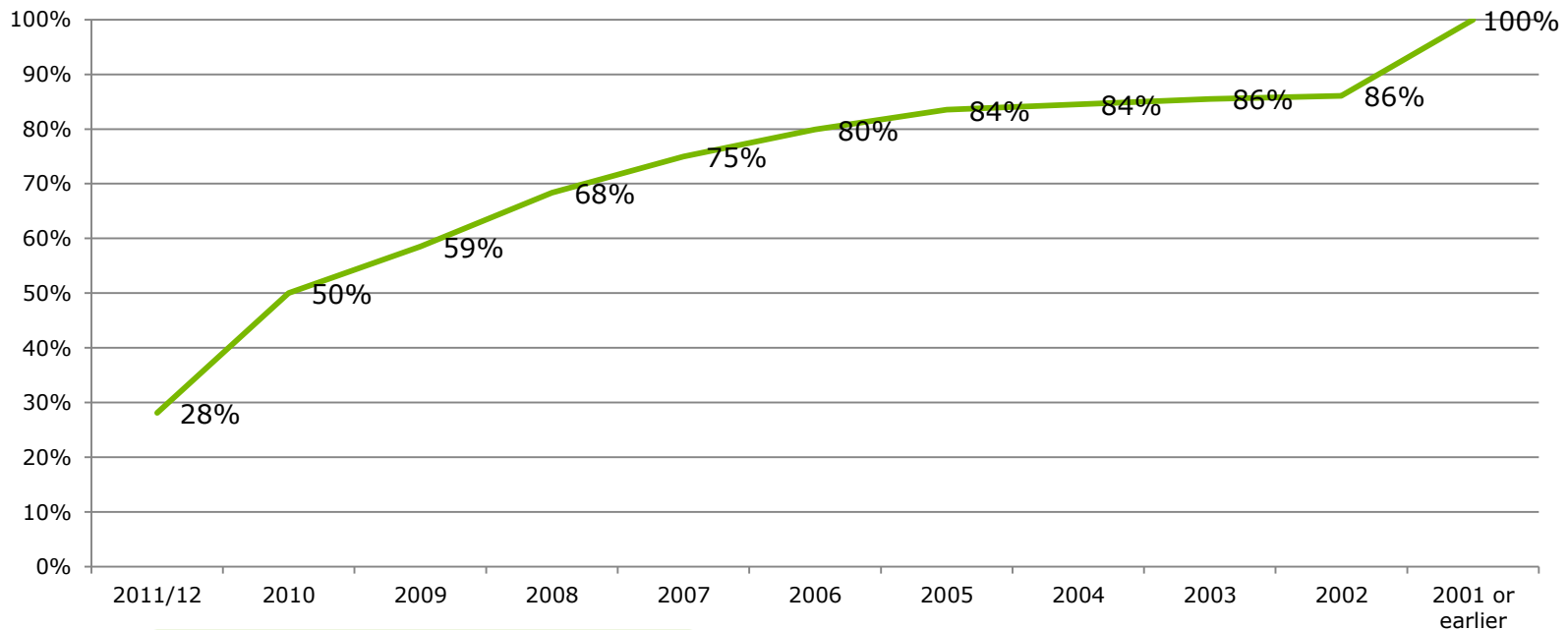
■ 補聴器非所有

■ 補聴器所有



# 現在所有されている補聴器の59%は2009年以降に購入されたものである

現在所有されている補聴器の購入時期



現在所有されている補聴器の平均所有年数は  
2012年の調査時点で 3.5 年である



補聴器の平均所有年数 (イギリス)

2012年 : 2.1年

2009年 : 2.6年



補聴器の平均所有年数 (ドイツ)

2012年 : 3.0年

2009年 : 3.4年



補聴器の平均所有年数 (フランス)

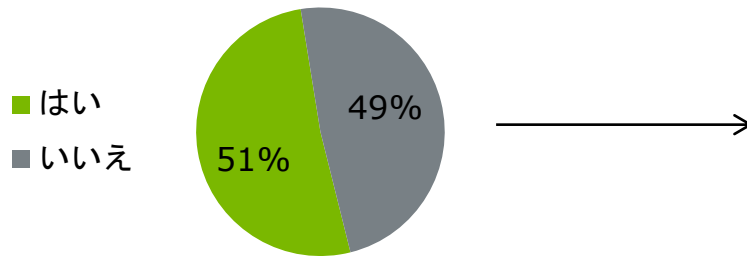
2012年 : 2.5年

2009年 : 2.9年



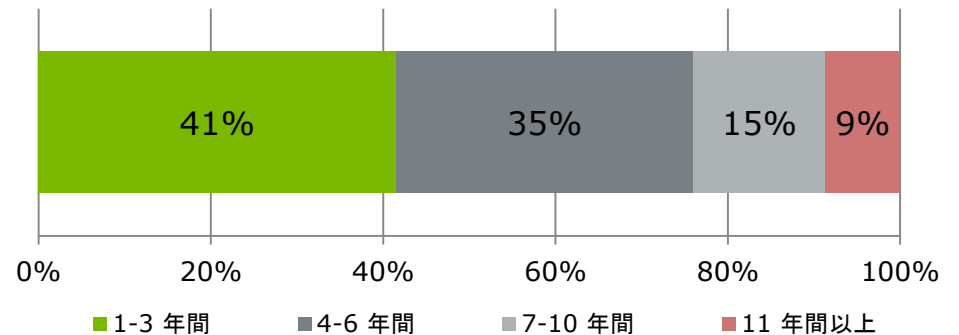
# 補聴器所有者のうち初めて補聴器を購入した人の割合は51% である。過去に複数回補聴器を購入した人は平均4年間その 補聴器を所有している

ご使用中の補聴器は初めて購入された補聴器ですか？



補聴器所有者：（450人）

以前お持ちの補聴器は何年間所有されておりましたか？



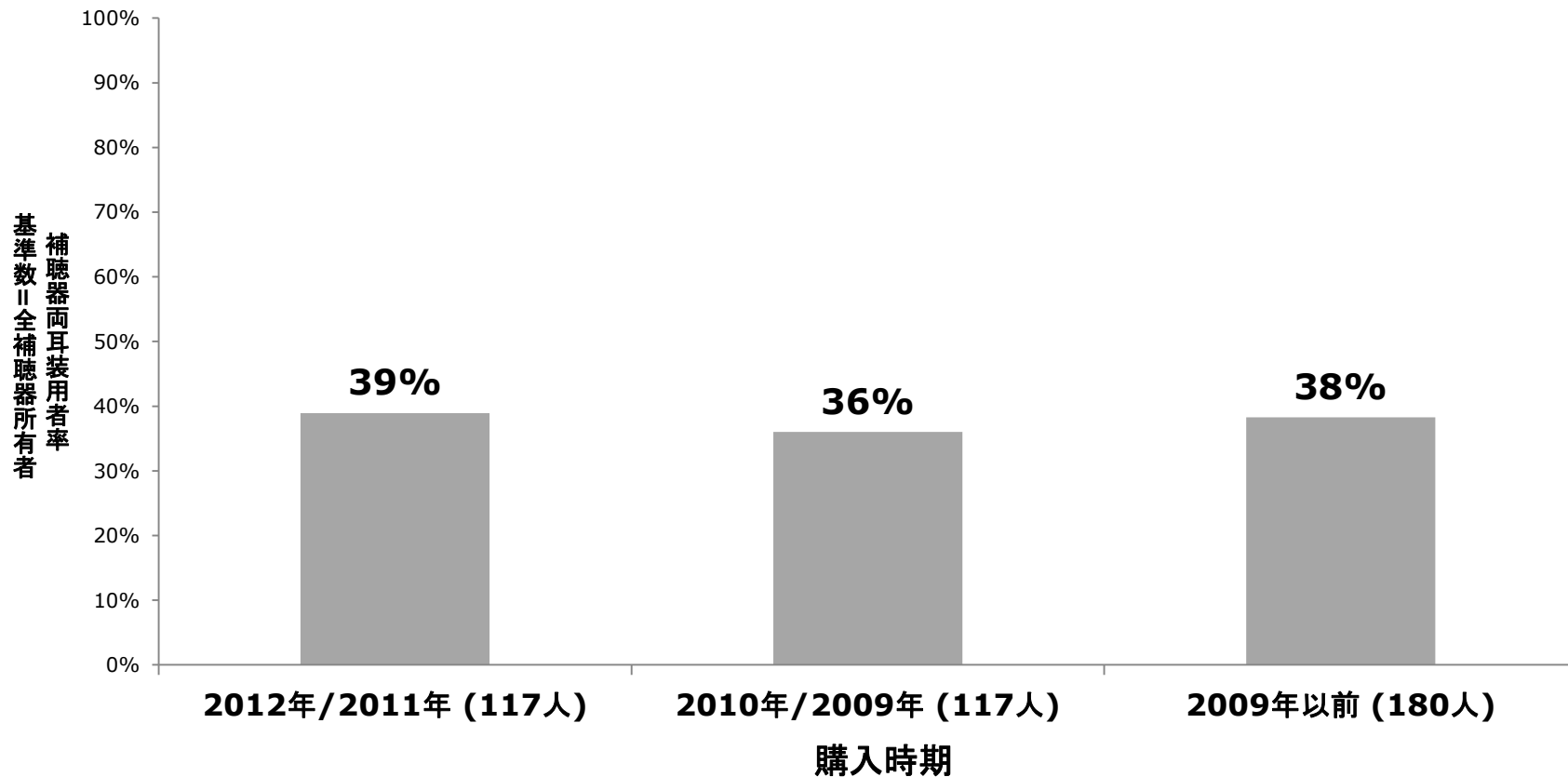
基準数：（197人）

補聴器買換え時期の中央値は2012年の調査時点で4年である





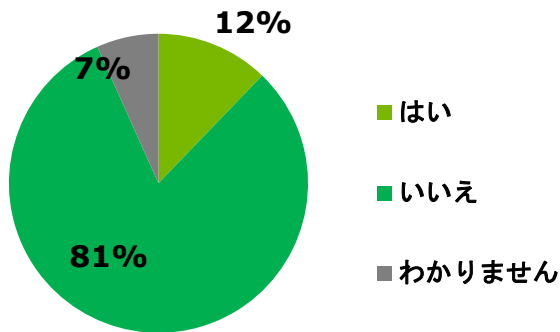
# 購入時期別の補聴器両耳装用者率





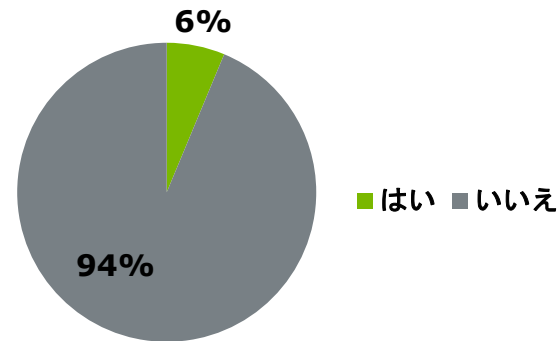
# 補聴器所有者のうち12%が障害者自立支援法または自治体独自の支援制度に基づく公的支給補助を受けている。制度の存在を知っている補聴器非所有者は6%のみ

補聴器所有者:  
購入に際し何らかの公的補助を受けましたか?



補聴器所有者：450人

補聴器非所有者:  
購入に際し何らかの公的補助を受けられる制度があることを知っていますか?

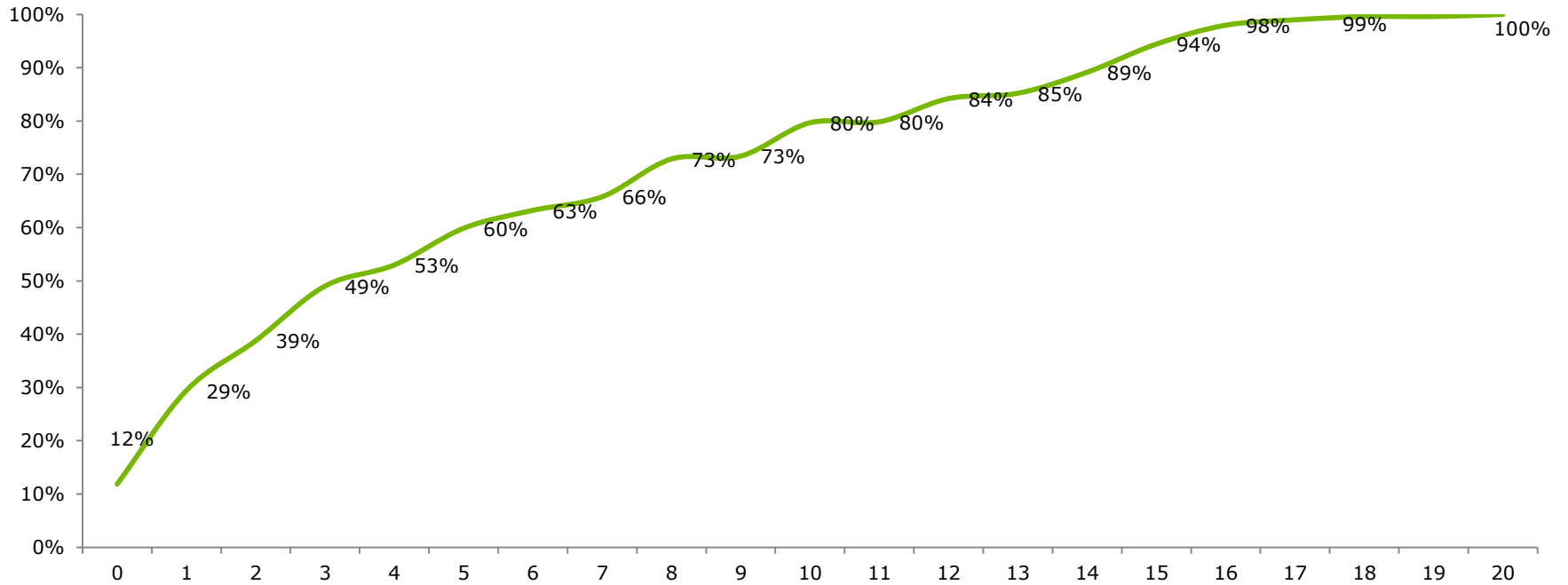


補聴器非所有者：898人



# 平均して補聴器は一日当たり 5.7時間使用されている

一日当たりの累計で何時間補聴器をつけていますか？



補聴器使用:  
中央値: 5.7時間/日



HA worn:  
2012 Mean: 8.3 hours/day  
2009: Mean: 7.5 hours/day



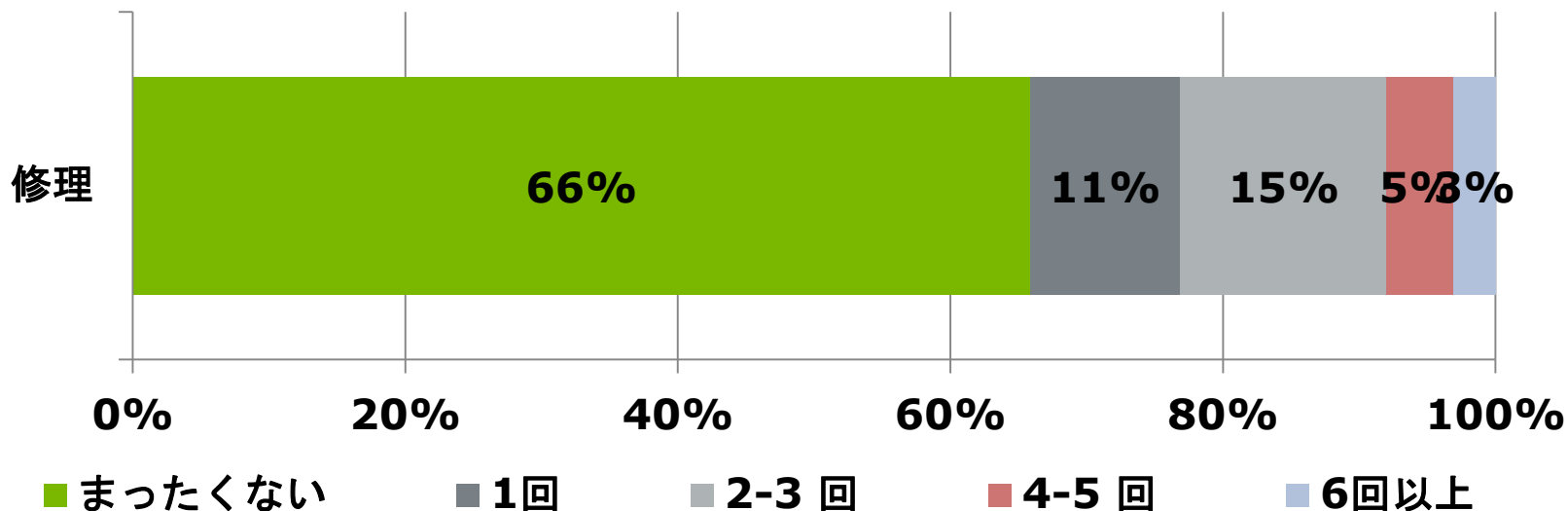
HA worn:  
2012: Mean: 8.0 hours/day  
2009: Mean: 7.7 hours/day



HA worn:  
2012: Mean: 9.2 hours/day  
2009: Mean: 8.3 hours/day

# 現在所有している補聴器の77%は、修理実績がないか、若しくは1回のみでの修理で適切に機能している

適切に機能しないという理由により修理を余儀なくされたことが何回ありますか？



補聴器所有者：450人





# 補聴器のワイヤレス機能に関する認知度及び 必要性に対する認識

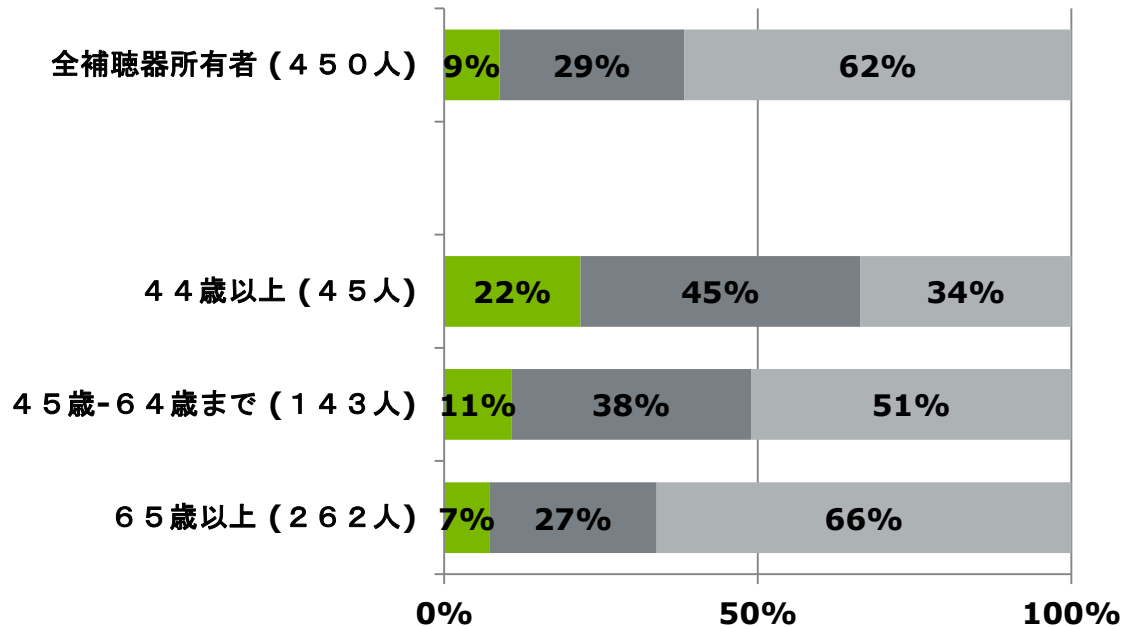
---



# ワイヤレス機能付き補聴器を使っている補聴器所有者は10人に1人のみ

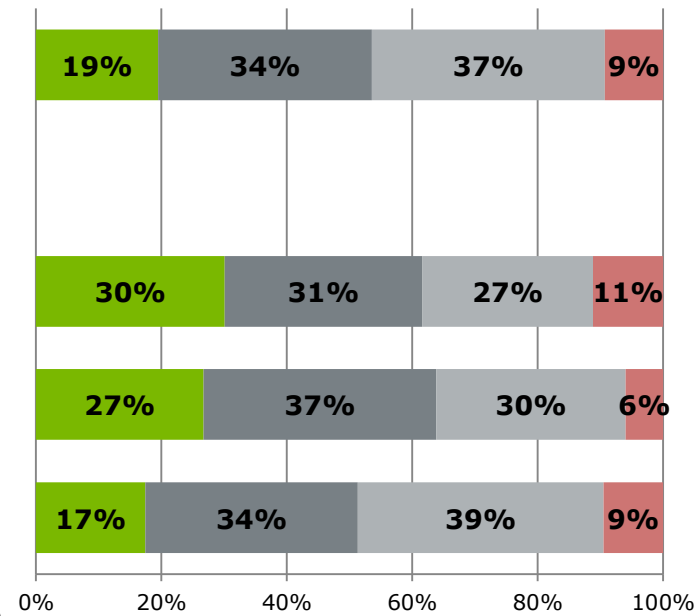
## ワイヤレス機能（通信技術）

補聴器のワイヤレス機能について聞いたことがありますか？



- はい、私の補聴器にはワイヤレス機能が付いています
- はい、その機能は聞いたことがありますが私の補聴器にはその機能は付いていません
- いいえ、その機能が付いている補聴器については聞いたことがありません

ワイヤレス機能は補聴器に必要なと思いますか？



- おおいに必要
- やや必要
- それほど必要ではない
- まったく必要ではない





# 補聴器の満足度及び満足度の影響因子

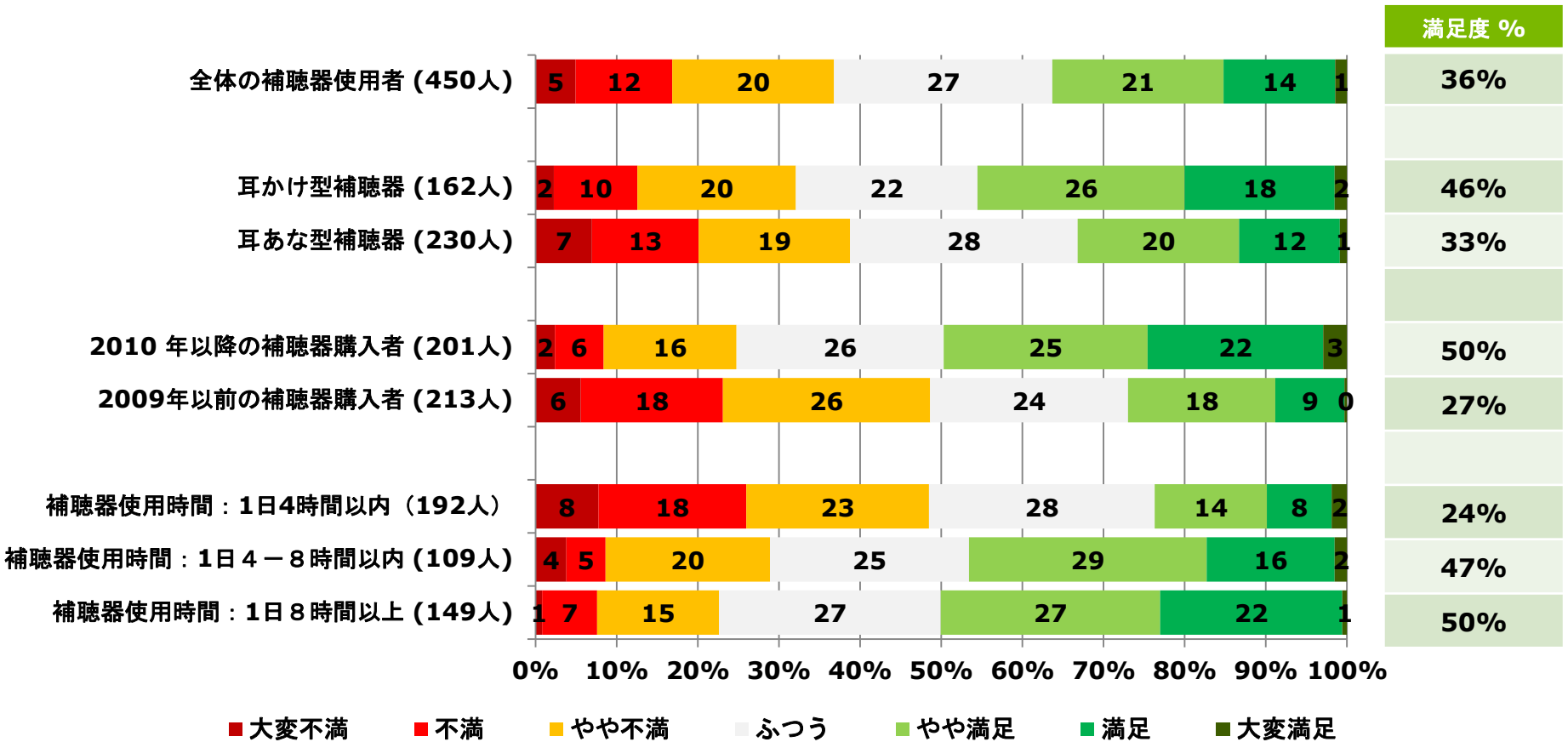
---





# 補聴器の全体的満足度及び最も高い満足度を得たカテゴリーは

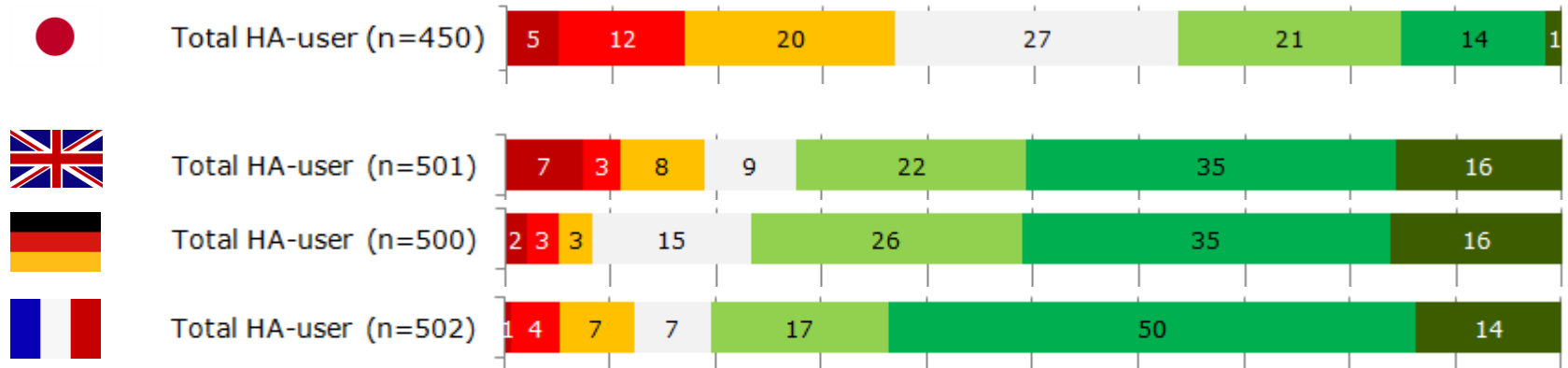
- 1) 耳かけ型補聴器
- 2) 2010年以降に購入した補聴器
- 3) 1日当たり8時間以上の補聴器使用



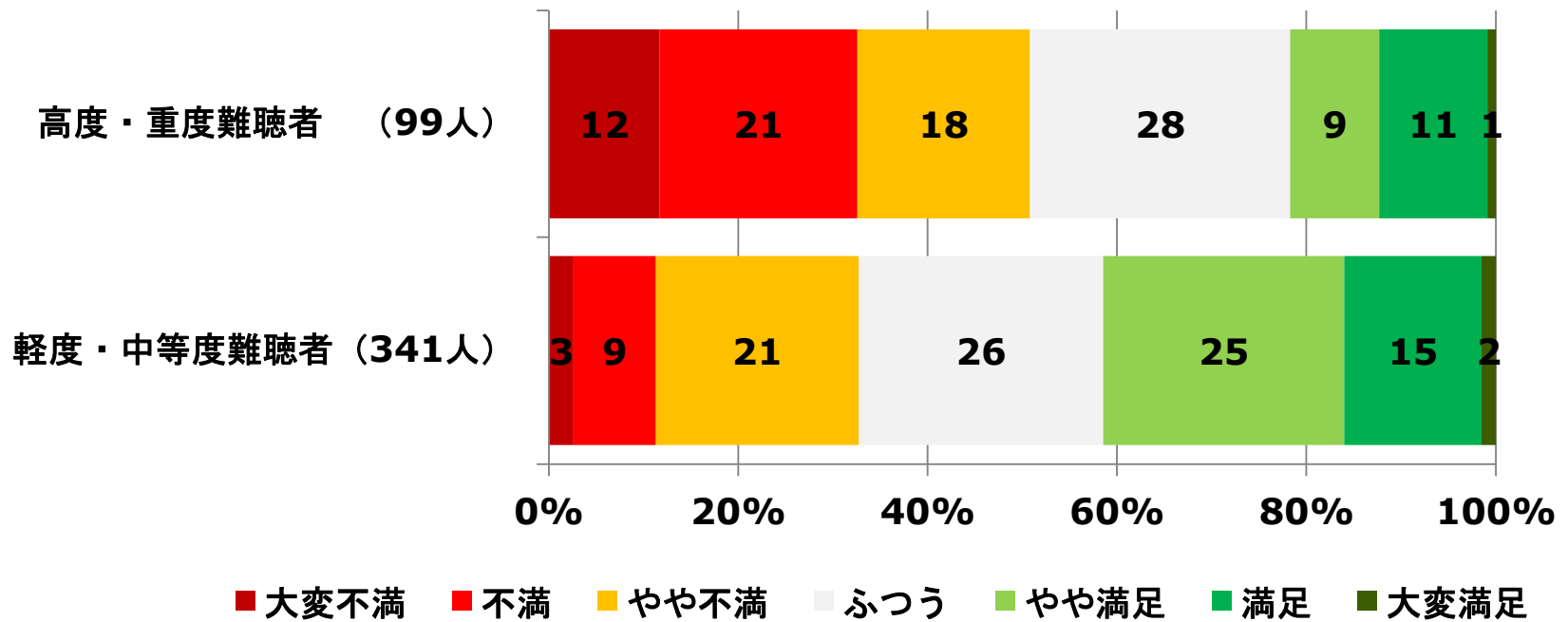
# 補聴器の全体的満足度に関する各国比較

## 日本は欧米諸国に比し満足度は半分以下

	日本 JapanTrak 2012	ドイツ Euro Trak 2012	イギリス Euro Trak 2012	フランス Euro Trak 2012	アメリカ Marke Trak VIII (2008)
全体的満足度	36%	77%	72%	80%	(74%)



# 高度・重度難聴者の全体的満足度は相対的に低い

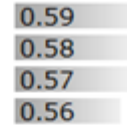


# 現在所有されている補聴器の満足度に影響を与える因子： 音質/信号処理に関連する項目が最も重要な因子である

補聴器の全体的満足度に対する影響度

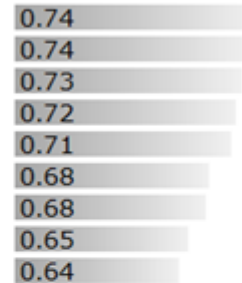
## 補聴器販売従事者

カウンセリングの質  
アフターサービスの質  
プロフェッショナリズム  
フィッティング期間中のサービスの質



## 聞き取りの状況

騒がしい場所での使用  
一人の相手との会話  
娯楽  
大きなグループでの会話  
小グループでの会話  
テレビ視聴  
大会場での講演内容の理解  
電話通話  
音楽鑑賞



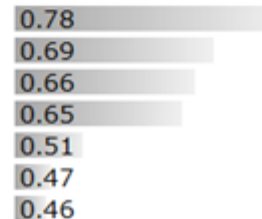
## 音質 信号処理

音の豊かさ又は忠実な再現  
トーンと音の明瞭さ  
自然な音  
大きな音の時の快適さ



## 製品の特徴

信頼度  
全体的快適さ  
性能と支払った金額のつりあい  
ハウリング抑制  
他人から補聴器が見える  
電池寿命  
電池交換が簡単



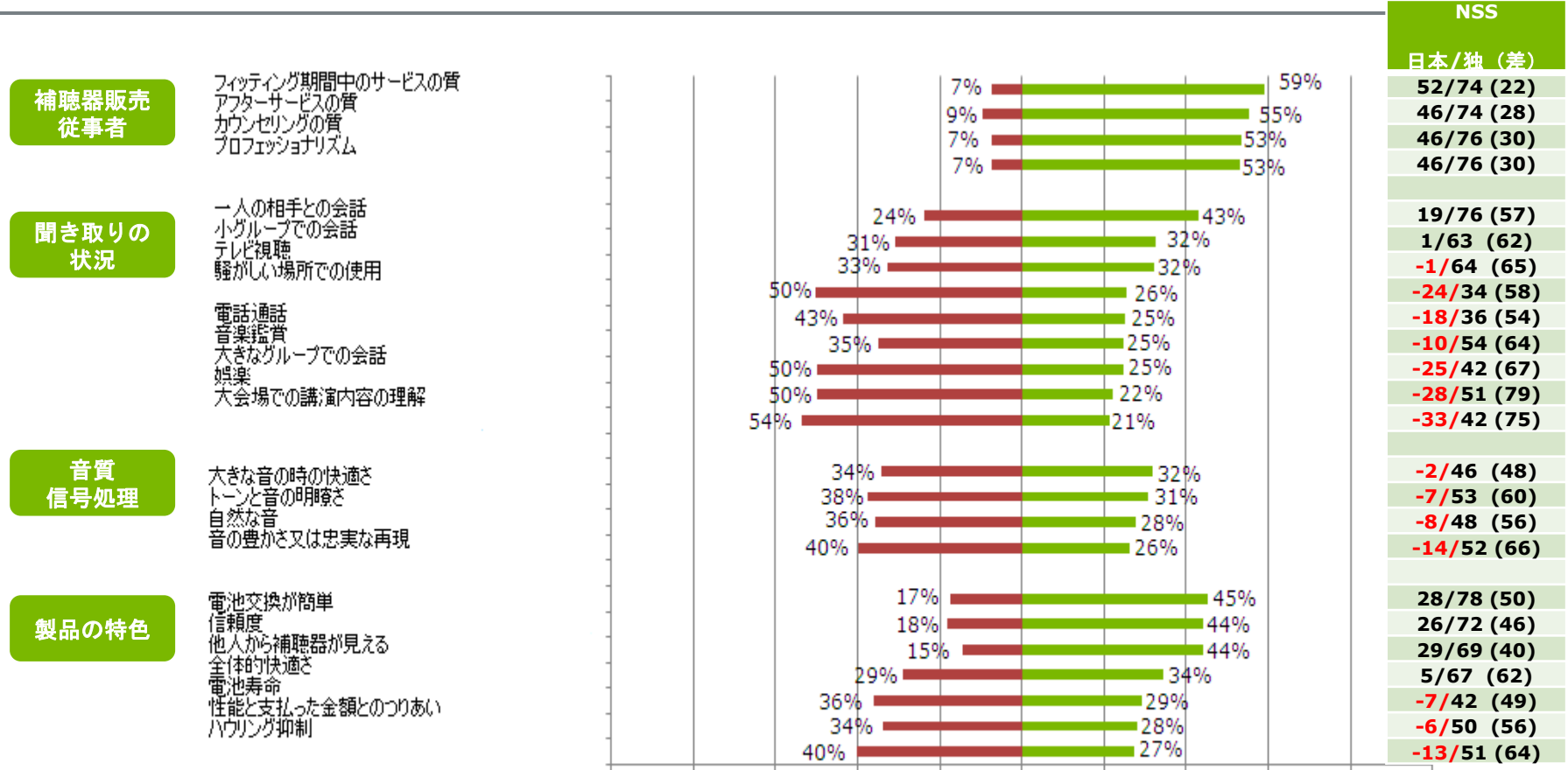
影響度は0.00を最小値、1.00を最大値として示されている。

0.00はその項目が満足度に全く影響を与えていないことを示し、反対に1.00は完全に満足度に影響を与えていることを示している。

その結果、相対的に「音質/信号処理」に関連する項目が最も重要な因子であり、その中でも0.82となった「音の豊かさまたは忠実な再現」が最も満足度に対する影響度が高い項目と考えられていることがわかる。



# 現在所有している補聴器の満足度 (日本とドイツの比較)



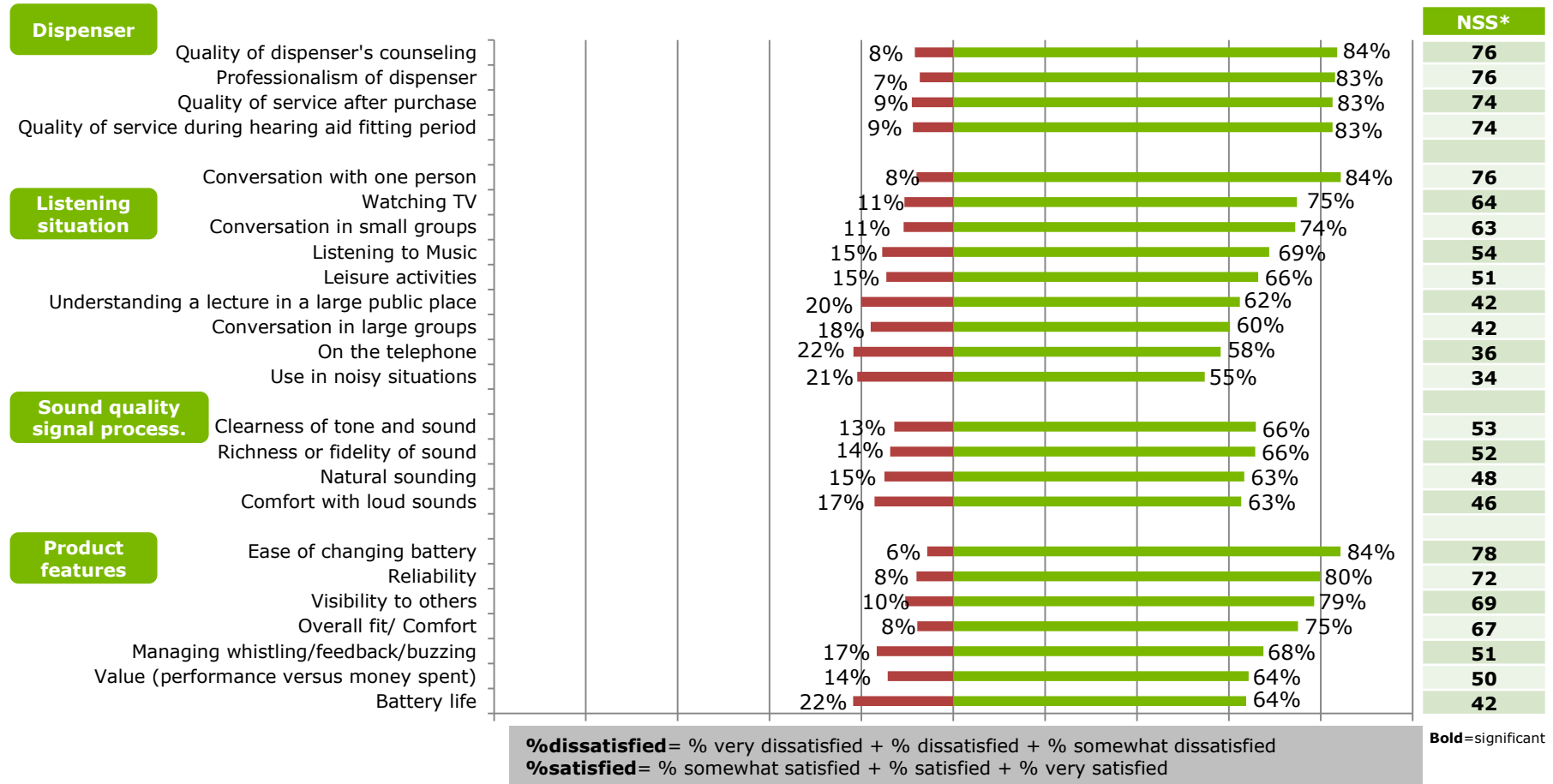
\*NSS= 満足のネット値 (満足度% - 不満度%)  
2012年度の日本とドイツのそれぞれのNSSの比較及び2国間の差

不満 = 大変不満 + 不満 + やや不満  
満足 = 大変満足 + 満足 + やや満足

■ 不満 | ■ 満足

補聴器所有者: 450人

# Satisfaction with current HA (ドイツ)



\*NSS= Net Satisfaction Score (%satisfied - %dissatisfied)

■ dissatisfied ■ satisfied

HA-owner, n=500



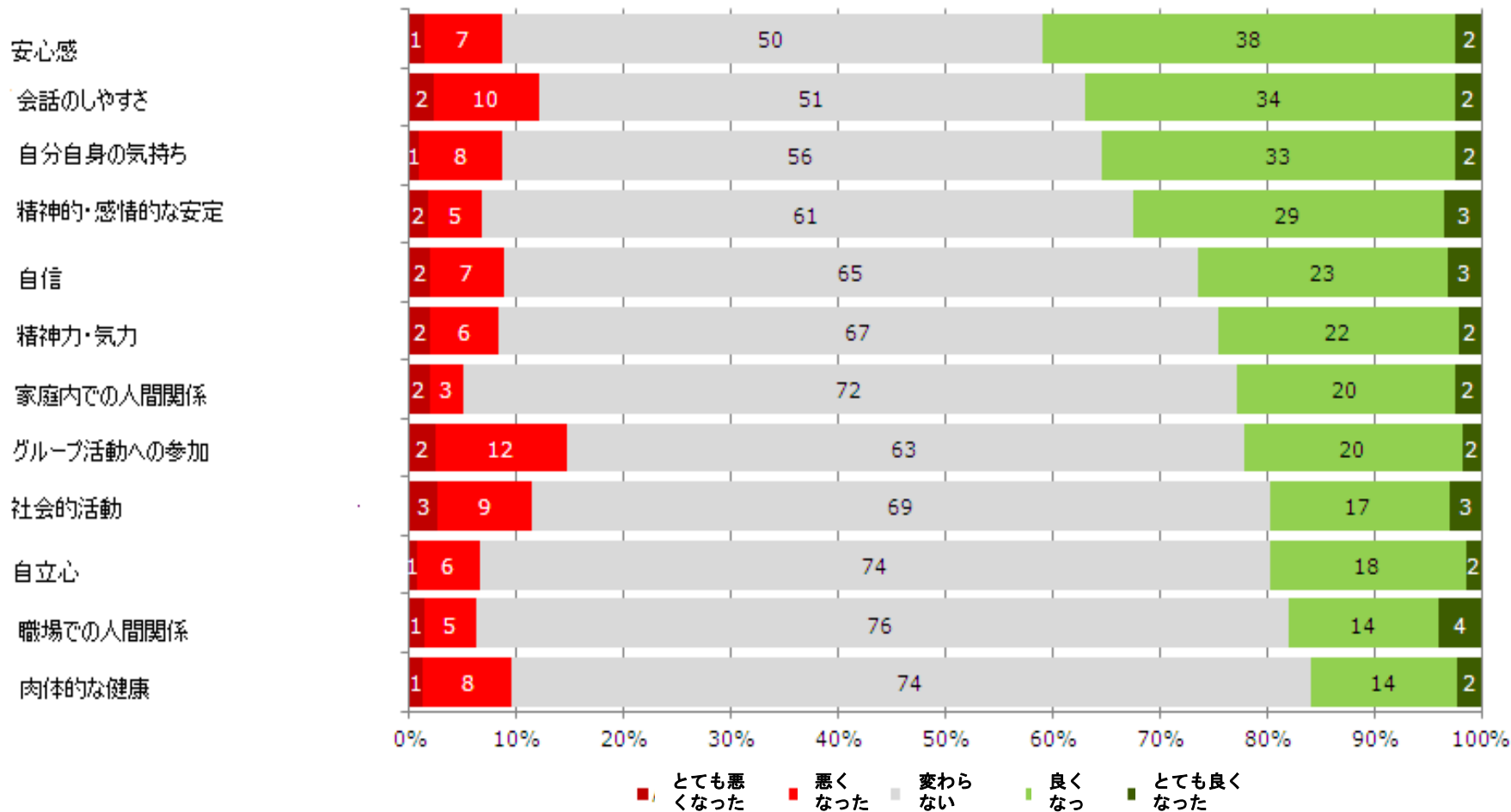


# 補聴器から得られる良い影響

---



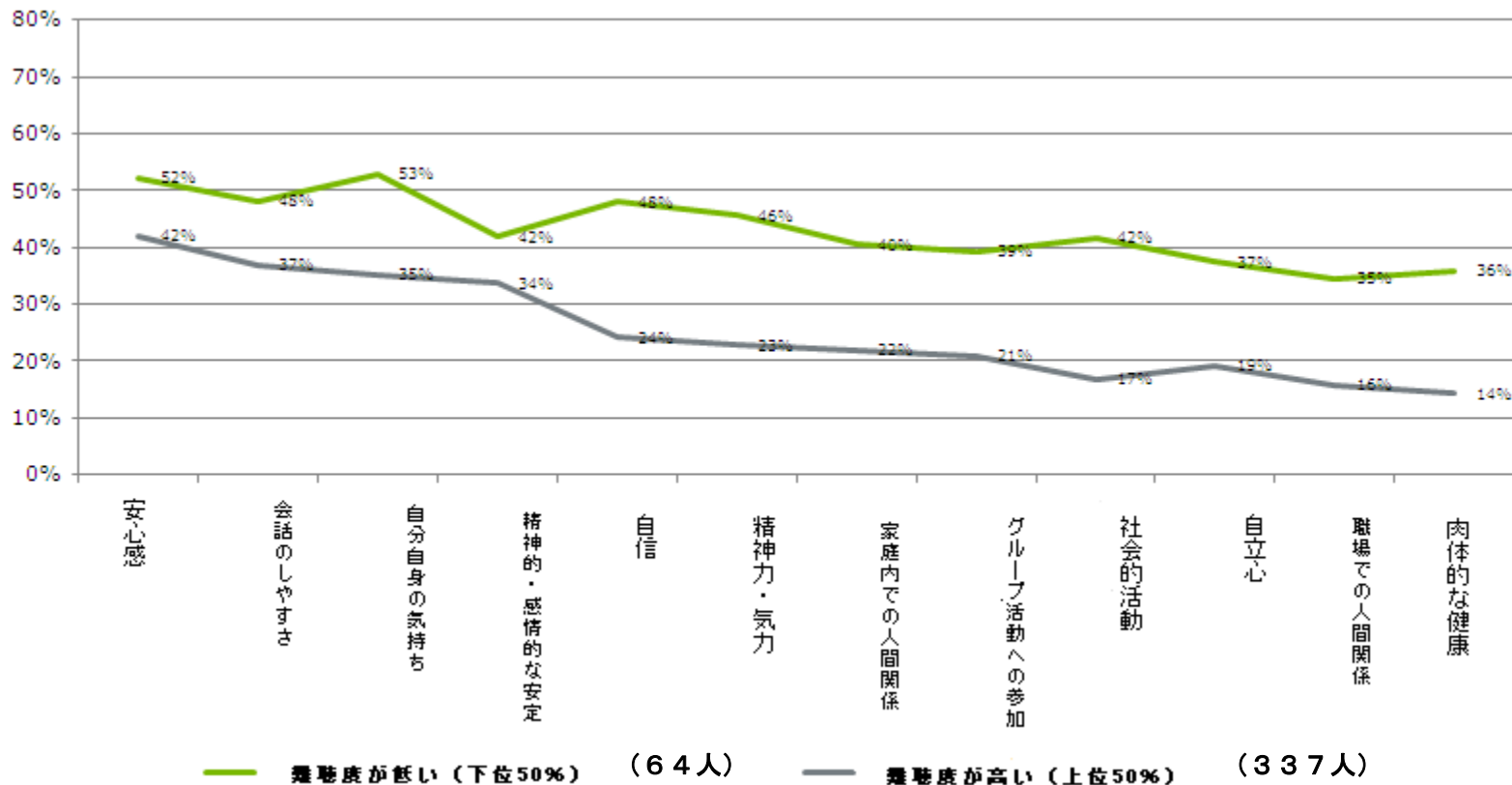
# 補聴器はさまざまな側面に対して大変良い影響を与えている 特に「安心感」・「会話のしやすさ」・「自分自身の気持ち」 などに改善がみられる





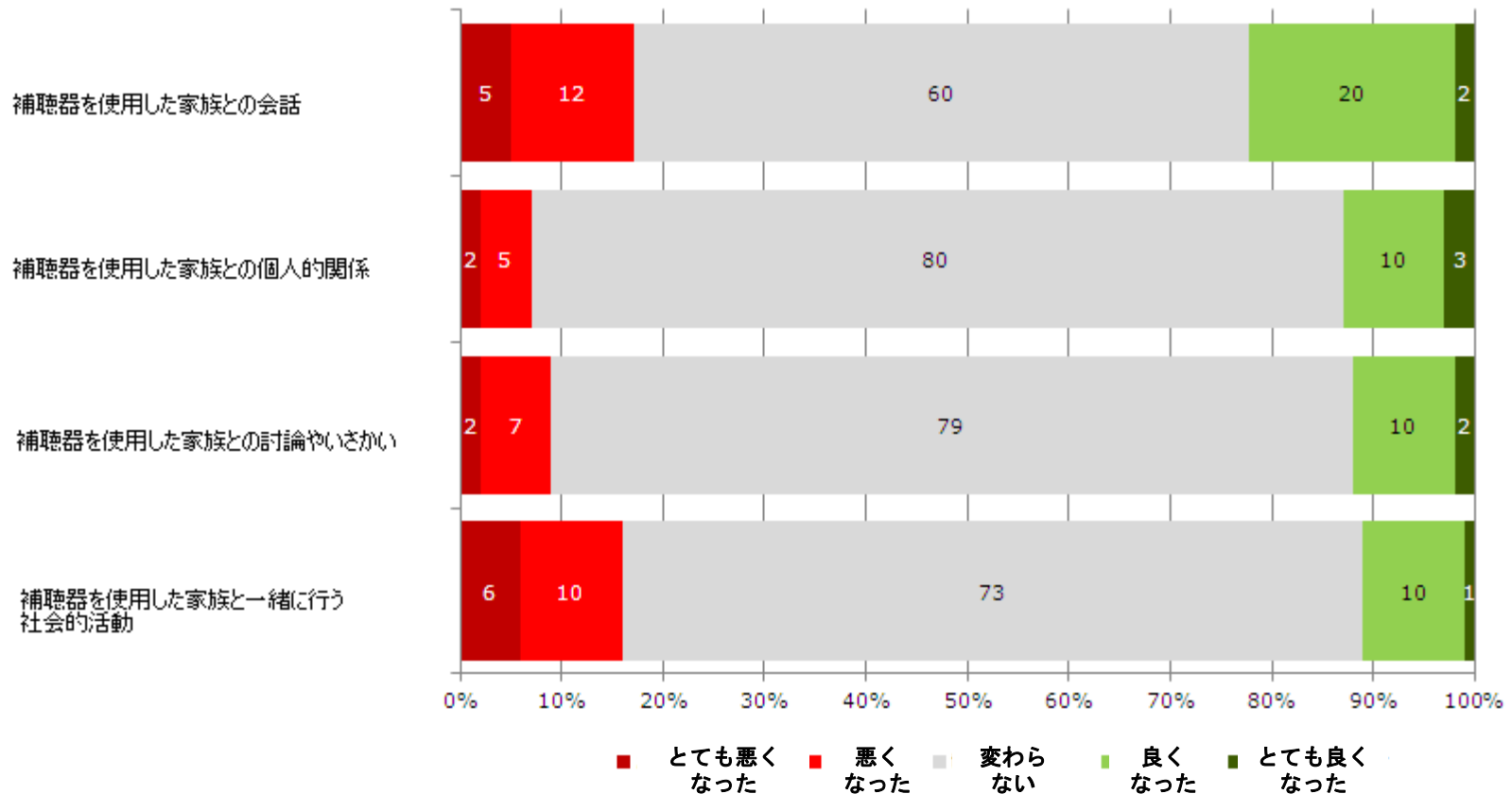
# 難聴度の高い上位50%のグループに比べ、難聴度の低い下位50%のグループは、全ての側面で良い影響が認められる

補聴器所有者が「良くなった/大変良くなった」と回答した項目別割合



# 家族（世帯主・両親等）が補聴器を使用したことにより顕著な状況改善は特には認められない

家族が補聴器を使用したことにより以下の状況に何らかの変化がありましたか？



家族が補聴器使用者の人：（215人）





# 4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

---





# 補聴器を所有または使用しない理由

---



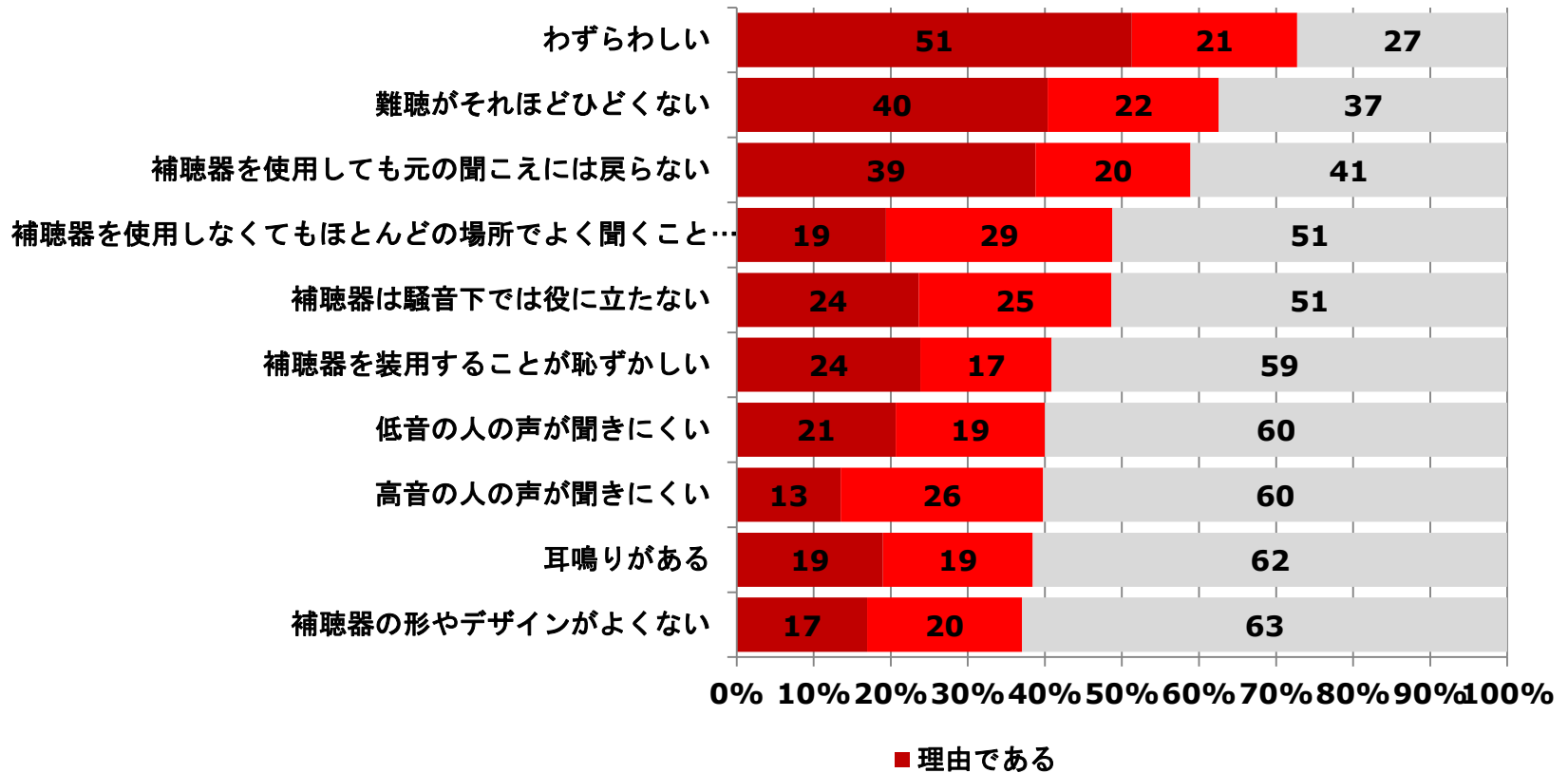
# 難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者グループと補聴器所有者グループの個々の難聴の程度がほぼ同じなので上位50%のグループから補聴器を使わない理由を分析した

## 難聴の程度:補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器所有者 (n=450)	補聴器非所有者 下位50%の難聴者	補聴器非所有者 上位50%の難聴者
聴覚障害			
片耳難聴	24%	46%	31%
両耳難聴	76%	54%	69%
感音性難聴		それぞれの難聴の程度が近似している	
軽度	17%	52%	17%
中度	56%	47%	70%
高度	24%	1%	8%
重度	3%	0%	4%



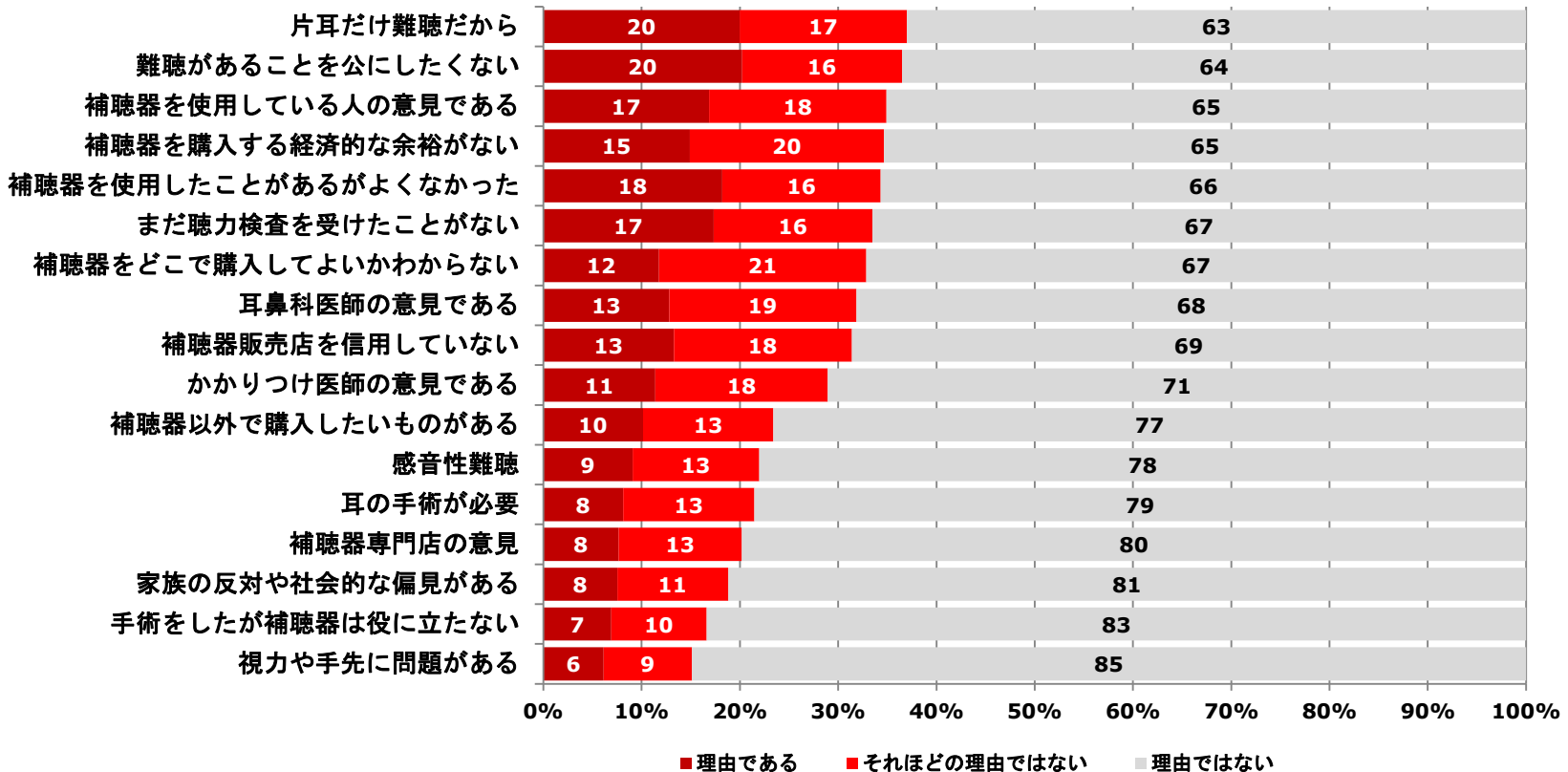
# 補聴器を使わない理由のトップ10 (I/II)



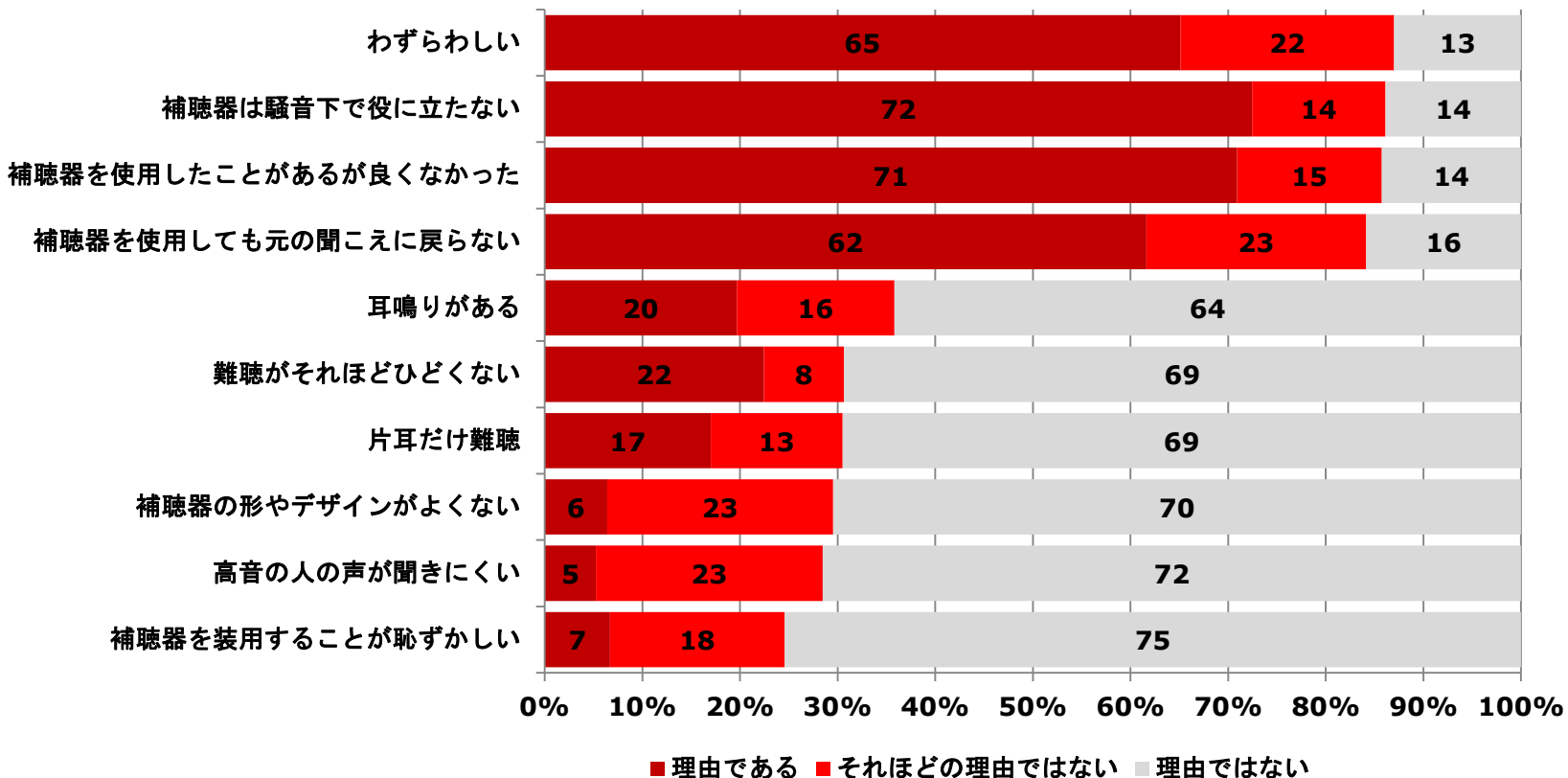
基数: 上位50%の補聴器非所有者=187人



# 補聴器を使わないトップ10以下の理由(II/II)



# 補聴器を所有していても使わないトップ10の理由



補聴器所有しているが使用していない：47人







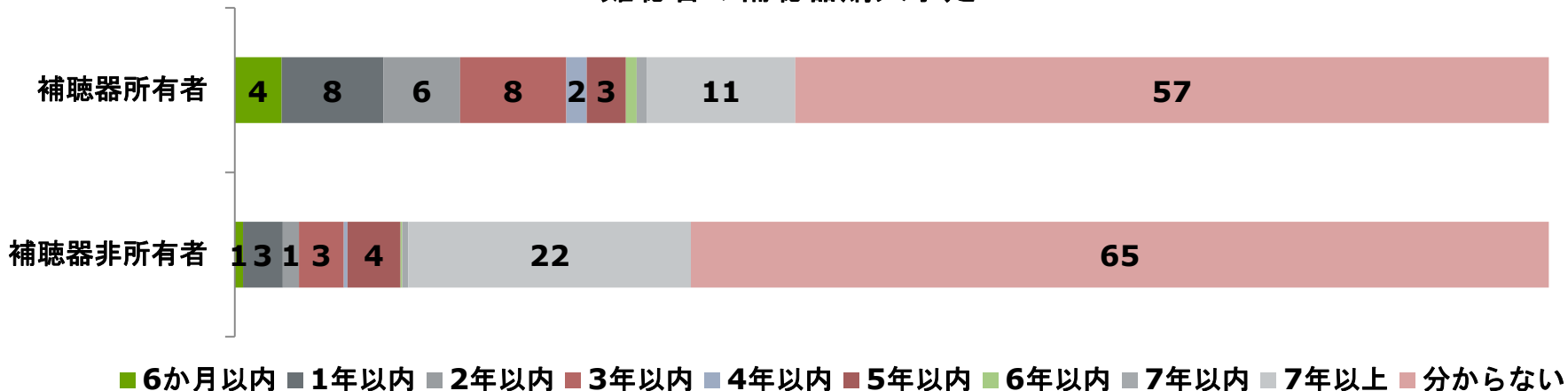
# 補聴器購入の意向

---

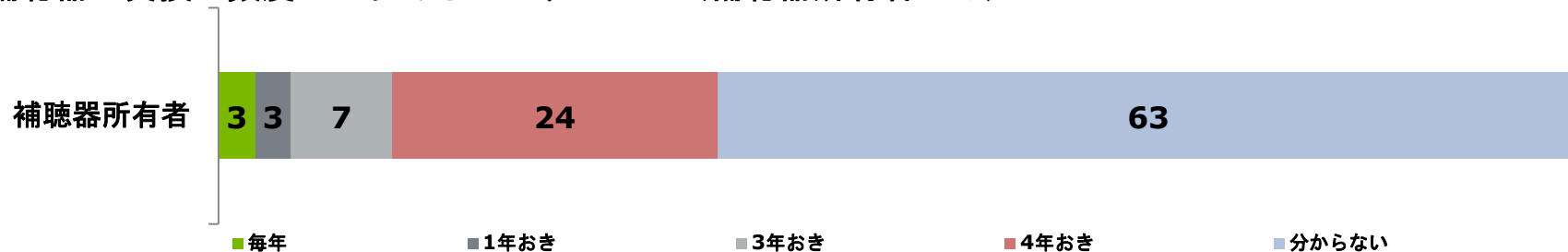


# 1年以内に補聴器購入を考えている補聴器非所有者は4%、 買換え購入者は12%である

難聴者の補聴器購入予定 %



補聴器の買換え頻度はどれくらいですか？ (補聴器所有者のみ)

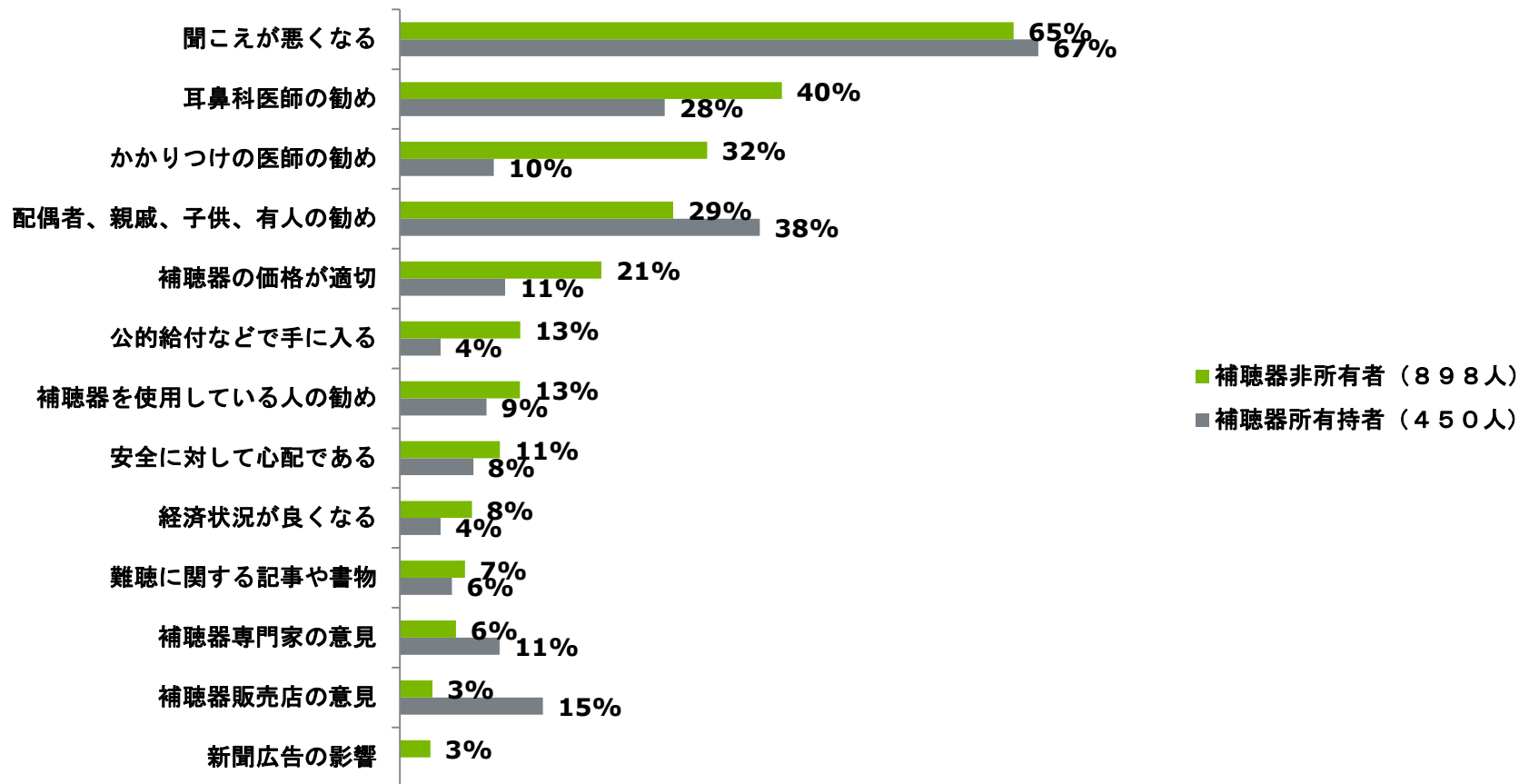


補聴器非所有者：898人  
補聴器所有者：450人

# 補聴器非所有者が補聴器使用を考え始める強い動機は 1) 聞こえが悪くなる、2) 耳鼻科医師やかかりつけ医師 からの推薦等である

補聴器所有者: あなたが初めて補聴器を購入した時のことを思い出してください。購入の動機は何でしたか？

補聴器非所有者: 補聴器を購入することを想像して下さい。その時の購入の動機は何でしょうか？





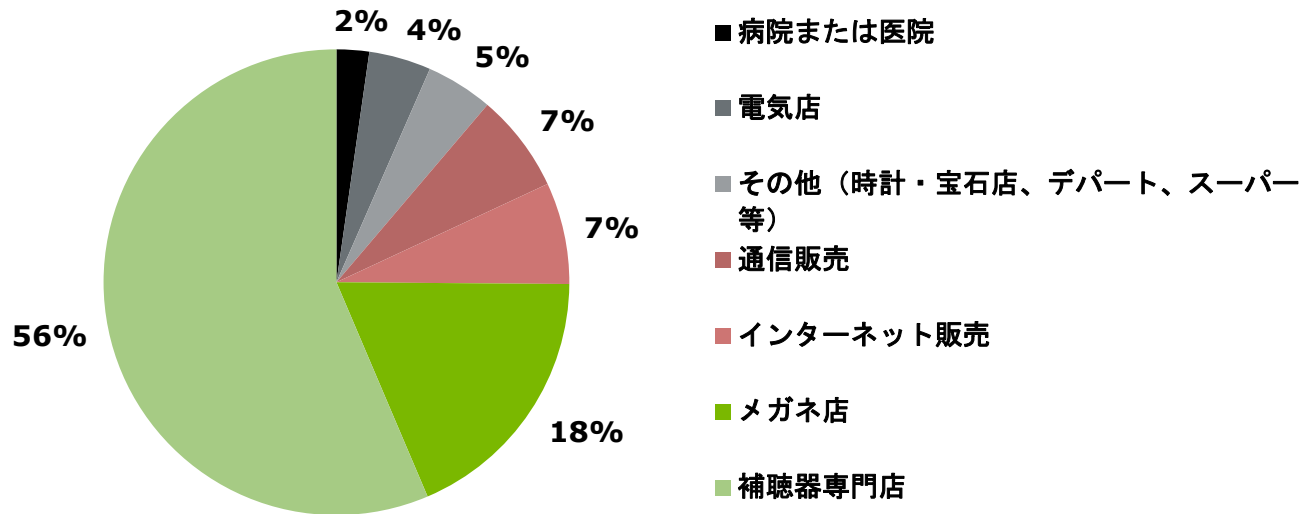
---

## 5. 日本市場に特化した質問



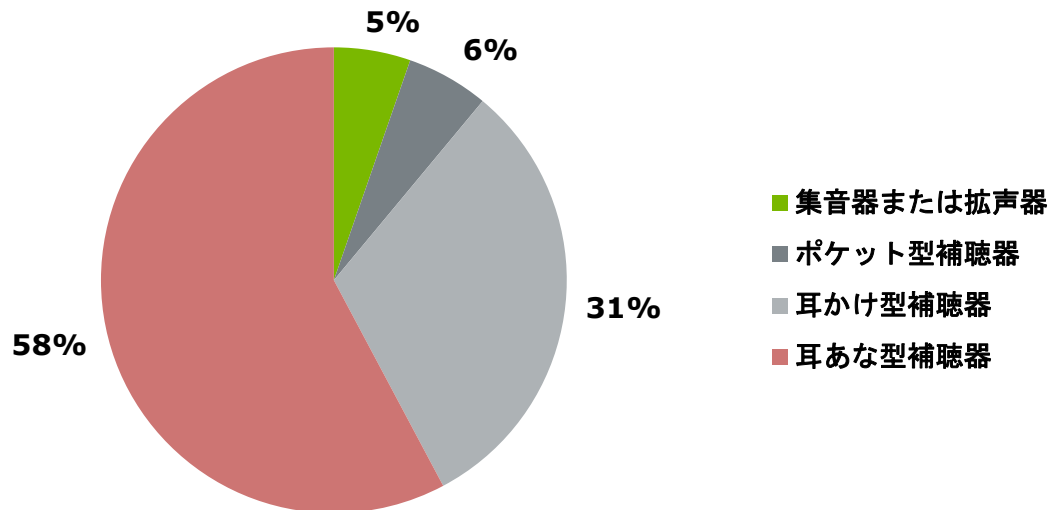
# 補聴器所有者の18%メガネ店で購入し、14%が通信販売やインターネット販売で購入している

現在使用中の補聴器の購入先はどこですか？



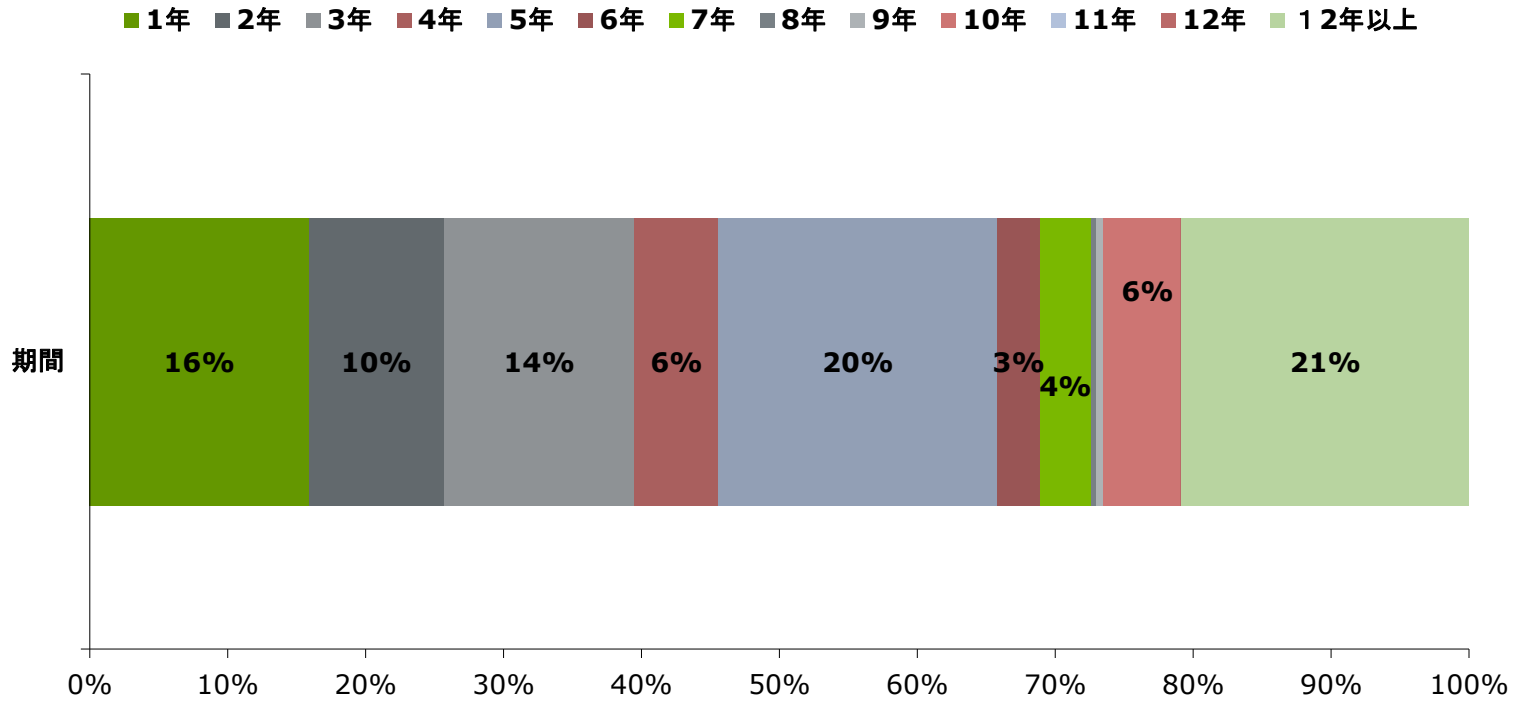
# 補聴器使用者の58%が耳あな型補聴器を使用している

あなたが使用している補聴器の種類を教えてください。



# 補聴器使用者は、難聴に気付いてから補聴器を使用するまでに5年かかっている

補聴器を購入した時のことを思い出して下さい。難聴に気付いてから初めて補聴器を購入した時までに何年かかりましたか？



中央値: 5年

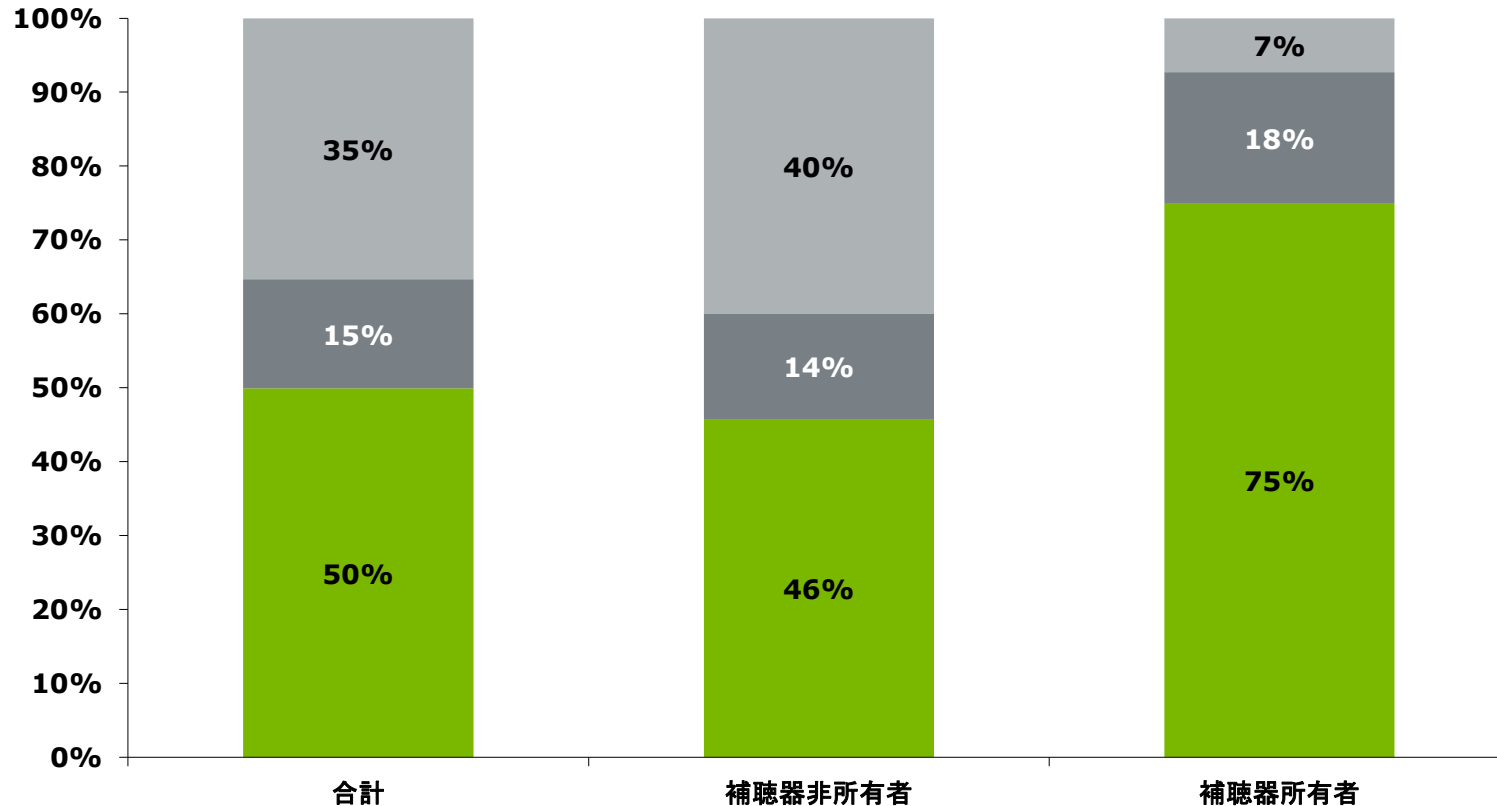




# 50%の難聴者が、自分の生活圏内のどこに補聴器販売店があるか知っている

あなたのお住まいの近くに補聴器販売店はありますか？

■ はい ■ いいえ ■ 分かりません



非加重サンプル数：1347人



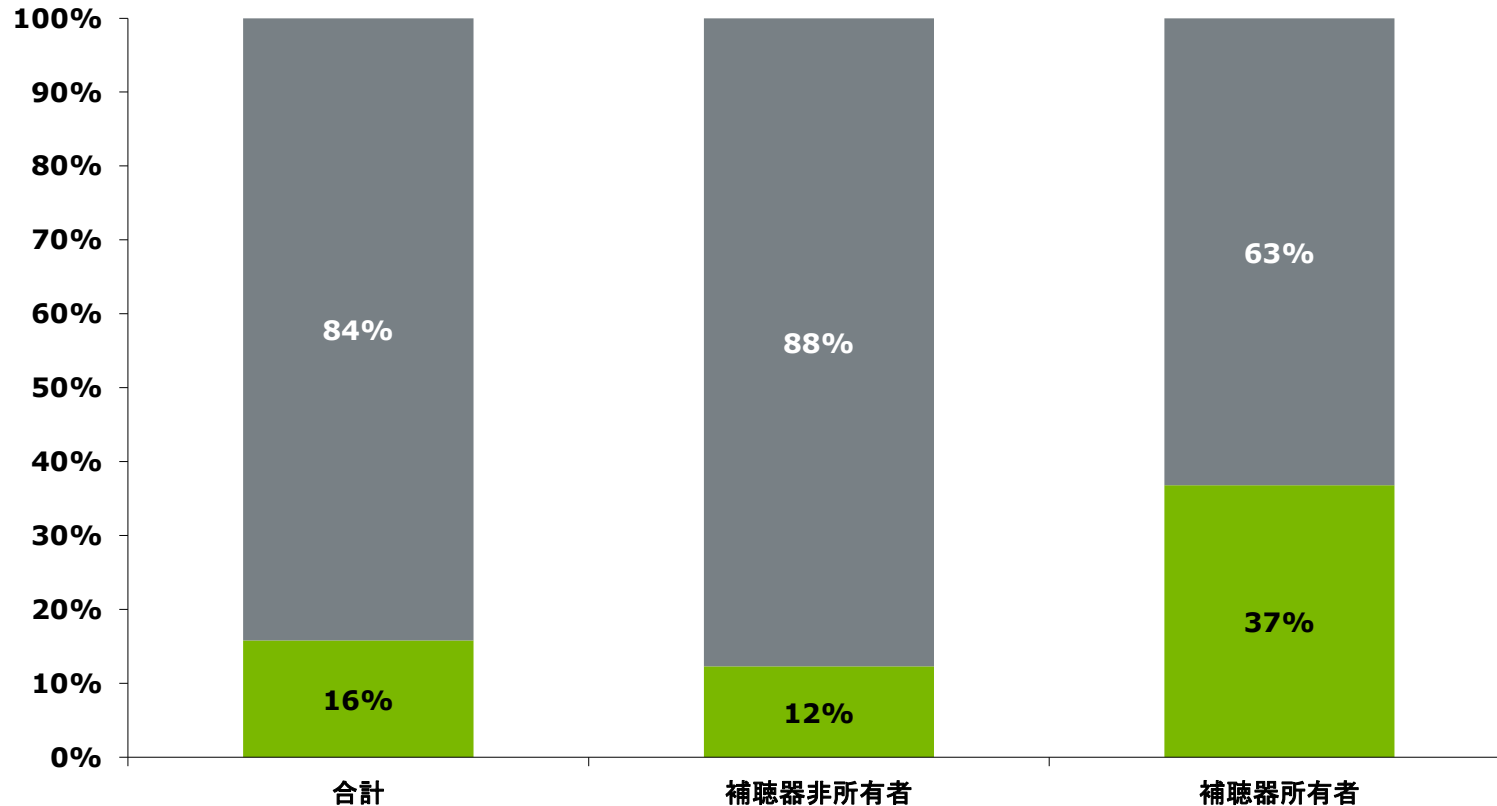




# 16%の難聴者が「認定補聴器技能者」という名称を知っている

あなたは「認定補聴器技能者」という名称をご存じですか？

■はい ■いいえ



非加重サンプル数：1339人

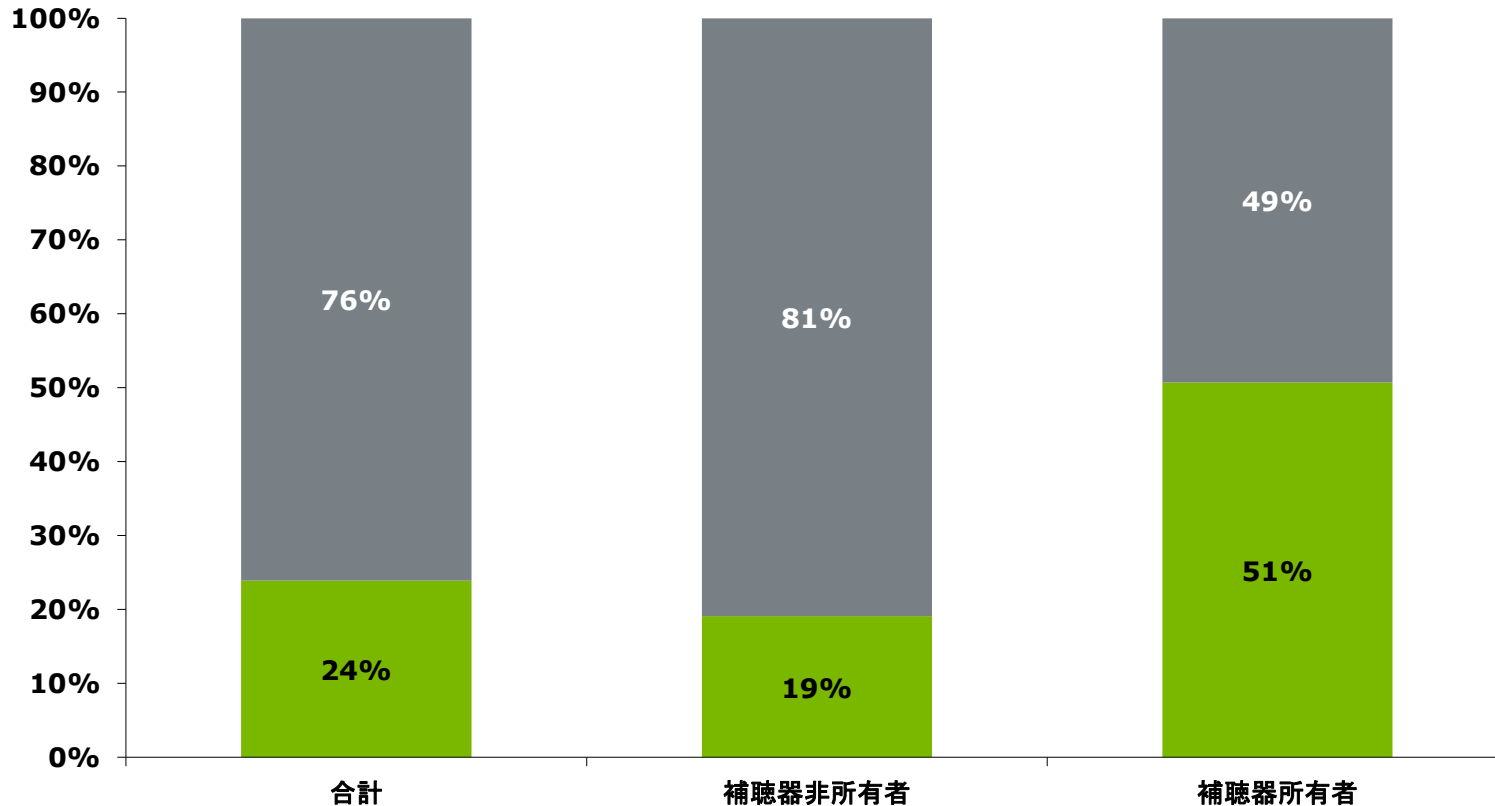




# 24% 難聴者が「認定補聴器専門店」という名称を知っている

あなたは「認定補聴器専門店」という名称をご存じですか？

■ はい ■ いいえ



非加重サンプル数：1339人

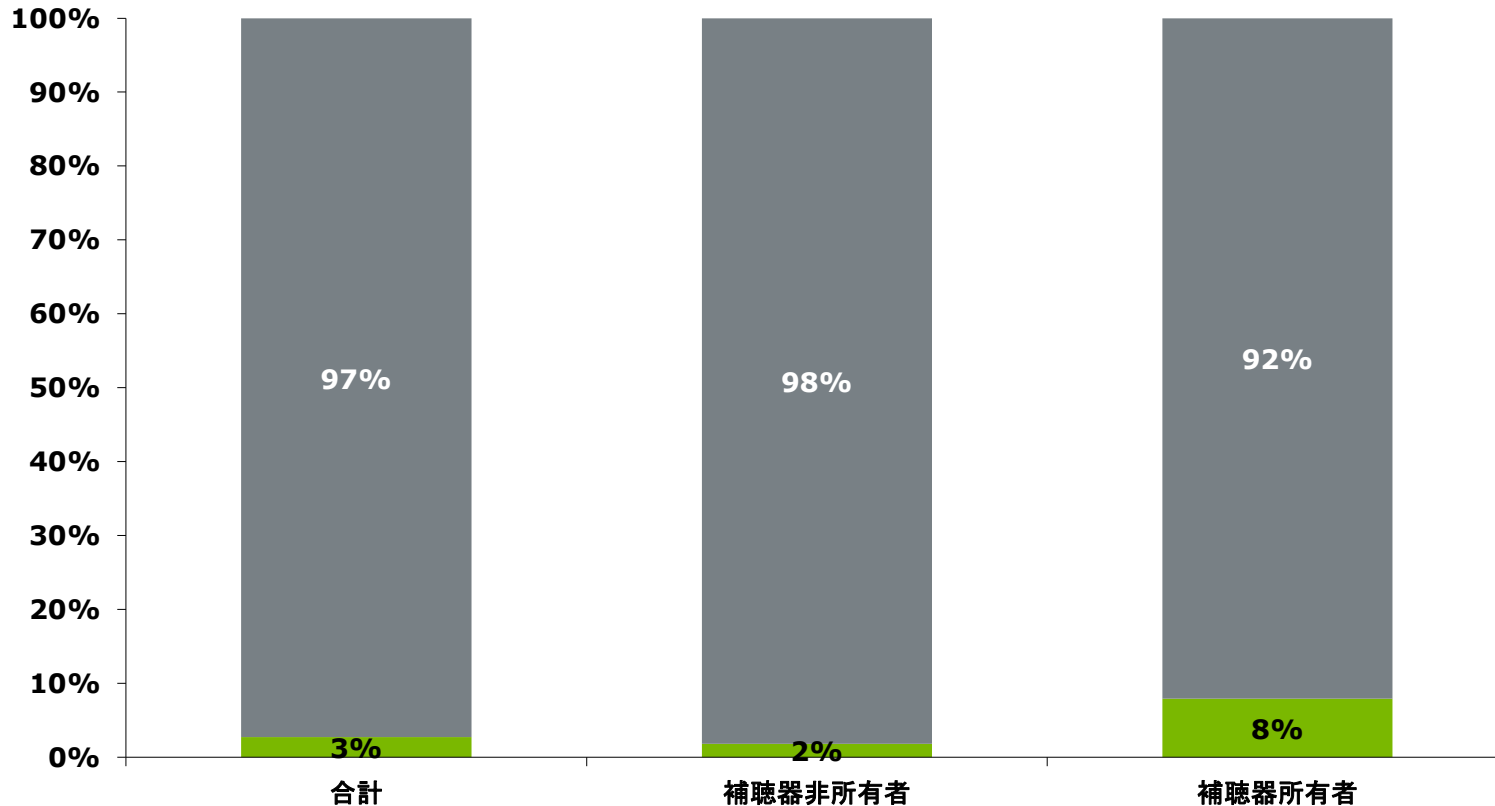




# 3%の難聴者が「テクノエイド協会」という名称を知っている

あなたは「テクノエイド協会」という名称をご存じですか？

■ はい ■ いいえ



非加重サンプル数：1335人





**Stefan Ruf** lic. rer. pol.

Anovum GmbH  
Sumatrastrasse 25  
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 77  
Mobil +41 (0)78 717 88 01  
Email stefan.ruf@anovum.com

[www.anovum.com](http://www.anovum.com)



**Christian Egger** lic. phil.

Anovum GmbH  
Sumatrastrasse 25  
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 78  
Mobil +41 (0)76 318 57 51  
E-Mail christian.egger@anovum.com

[www.anovum.com](http://www.anovum.com)



**EHIMA**  
European Hearing Instrument  
Manufacturers Association



**EHIMA**  
European Hearing Instrument  
Manufacturers Association

**EHIMA**

Soeren Hougaard

EHIMA secretary general

Phone: (+45) 4045 7135

Email: [sh@ehima.com](mailto:sh@ehima.com)





# 付属データ

---





# 人口動態 (1): 補聴器使用率と人口

表: 各表は合計が100%になる\*

	総数	聴取困難	補聴器使用率 % (基数=聴覚障害者)	健聴者	難聴であるが補聴器 は所有していない	補聴器所有者
<b>性別</b>						
男	7305	10.3%	14.5%	48.9%	45.6%	46.9%
女	7731	11.5%	13.9%	51.1%	54.4%	53.1%
<b>年齢</b>						
1歳 - 14歳	2030	0.6%	28.7%	15.1%	0.6%	1.6%
15 再 - 24歳	1468	3.5%	5.8%	10.6%	3.4%	1.3%
25歳 - 34歳	1778	2.6%	17.9%	12.9%	2.7%	3.6%
35 再 - 44歳	2166	3.6%	8.5%	15.6%	5.0%	2.8%
45歳 - 54歳	1839	6.6%	2.9%	12.8%	8.3%	1.5%
55歳 - 64歳	2165	10.8%	8.0%	14.4%	15.2%	8.0%
65歳 - 74歳	1816	18.0%	9.3%	11.1%	21.0%	13.1%
74歳以上	1774	43.7%	20.4%	7.5%	43.6%	68.1%
<b>家族構成</b>						
一人で暮らしている	1136	17.7%	16.3%	7.0%	11.9%	14.1%
夫婦のみで暮らしている	2906	14.9%	13.3%	18.5%	26.6%	24.8%
夫婦と子供で暮らしている	7231	5.7%	10.3%	50.9%	26.1%	18.3%
母親または父親と子供とで暮らしている	1927	14.1%	13.7%	12.4%	16.6%	16.0%
老人ホーム、介護施設、病院で暮らしている	153	55.1%	14.6%	0.5%	5.1%	5.3%
その他	1677	14.4%	20.7%	10.7%	13.6%	21.5%



# 人口動態 (2): 補聴器使用率と人口

表: 各表は合計が100%になる\*

	総数	聴取困難	補聴器使用率 % (基数=聴覚障害者)	健聴者	難聴であるが補聴器 は所有していない	補聴器所有者
<b>身分</b>						
世帯主	5409	15.7%	13.1%	34.3%	55.1%	50.3%
世帯主の配偶者	3719	9.5%	10.8%	25.3%	23.4%	17.1%
世帯主の子供	4641	1.7%	16.2%	34.3%	5.0%	5.8%
世帯主の親	618	36.4%	20.1%	3.0%	13.4%	20.4%
その他	484	11.5%	25.2%	3.2%	3.1%	6.3%
<b>仕事</b>						
常勤者	4748	6.3%	7.8%	39.4%	19.6%	10.2%
パートタイマー	1715	7.5%	8.9%	14.1%	8.3%	5.0%
無職	2802	13.3%	14.6%	21.5%	22.6%	23.7%
年金受給者	2155	30.8%	17.9%	13.2%	38.8%	52.0%
早期退職者	83	18.4%	18.0%	0.6%	0.9%	1.2%
定年退職者	531	23.5%	12.0%	3.6%	7.8%	6.5%
学生	879	3.4%	10.0%	7.5%	1.9%	1.3%
<b>最終学歴</b>						
中学校卒業	1102	24.9%	16.7%	7.3%	16.2%	20.0%
高等学校卒業	4462	13.1%	12.9%	34.4%	36.2%	32.8%
専門学校卒業	1149	8.5%	12.7%	9.3%	6.0%	5.4%
短期大学卒業	1014	7.7%	13.4%	8.3%	4.8%	4.6%
大学卒業	3612	9.2%	10.2%	29.1%	21.1%	14.8%
大学院卒業	389	8.9%	9.4%	3.1%	2.2%	1.4%
その他	424	28.2%	20.7%	2.7%	6.7%	10.8%
回答を希望しない	765	15.1%	20.4%	5.8%	6.6%	10.3%

